

令和2年度使用 小学校用教科用図書

東濃採択地区 調査研究結果



令和元年7月10日(水)

東濃採択地区協議会 研究員会

【 種 目 】 国 語

【 発 行 者 】 4 者

2 東京書籍

11 学校図書

17 教育出版

38 光村図書出版

種 目【国語】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・各領域、各事項の内容は、概ねバランスよく構成されており、よく配慮されている。 ・諺や慣用句、社会科ノート等の平仮名の部分を漢字に書き換えるなどの工夫により、既習の漢字を学ぶことができ、将来の社会生活での活用や、教科等との関連が十分図られている。 ・「書くこと」領域の学習の初めのページに、前学年で学んだことを確かめる項目が位置付けられている。「報告する文章」を書く学習では、第3学年で取材や構成に重点を置いた学習を行った後、第5学年で資料を加えて報告する文章を書くなど、学年間の関連が図られている。加えてパンフレットによる報告等、資料の活用を取り上げ、一層学習の定着が図られるようにするなど、系統性、発展性において大変よく配慮されている。 ・第3学年「モチモチの木」第5学年「大造じいさんとがん」等の学習ページには、課題解決に向かうための具体的な言語活動や、考え方を示唆する児童の吹き出しが位置付けられている。また、「読むこと」単元のめあては「音読で伝えよう」「しょうかいしよう」のように、多様な言語活動が取り入れられ、児童が主体的に学ぶことができるよう、よく配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・郷土、地域を題材にした教材が、低・中・高学年でバランスよく配置されている。さらに高学年においては、ふるさとの食や日本の文化について「読む」学習をした後、自ら調べて「書く」学習へと発展的に学べるよう、大変よく配慮されている。 ・学習コンテンツでは、全学年において全国学力・学習状況調査の課題である漢字の復習が位置付けられている。新しく習った漢字の筆順が一画ずつ視覚的に確認できるものや、タップすると平仮名が漢字に変わるものなど、よく整備されている。 ・3年「パラリンピックが目指すもの」4年「くらしの中の和と洋」等、多文化共生やバリアフリーを題材にした教材が2年生から6年生までバランスよく配置されている。また、「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」の各領域において、知識を得ることだけに限らず、自分の考えを書いたり、仲間に伝えたりするなど言語活動の充実によく配慮されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・「読むこと」の単元では、導入を見開きで示し、右に目標、既習内容の確認、見通しをもたせる問いかけ、読みの着眼点、左に単元の扉(挿絵・リード文)が示されている。目標と振り返りの観点は整合が図られており、学習の手引きは「つかむ・取り組む・ふり返る」という3ステップで構成されている。「取り組む」過程において発問が丁寧に示されており、言語活動や対話モデルの例示が十分位置付けられている。 ・読書に関わる教材として、読書活動教材と図書館活用教材が位置付けられている。4年生における図書の紹介冊数は、87冊である。言葉に関わる教材は「言葉の広場」「言葉集め」「季節の足音」「生活の中の言葉」「言葉の練習」など種類が豊富で、語彙を獲得できるよう十分配慮されている。漢字に関わる教材は、「漢字の練習」として既習漢字の書き取り問題が多数用意されている。
4 表現や体裁等に関する事	・5、6年[1冊] 5年…517g 6年…517g ・文節ごとの分かち書き、文節単位の改行は、2年[下]までなされ、低学年の児童等が理解しやすいよう、よく配慮されている。1年の特殊音節(「っ」など)の学習は、視覚化、動作化が図られている。 ・学習のポイントを示す「★言葉の力」や、学んだことを生かす「覚えているかな」「おさえる」他教科でも活用できる「生かそう」がある。読み物、言葉、漢字などの巻末資料が十分収録されている。

種 目【国語】

発行者【11 学校図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・全体的に「書くこと」や「言葉の特徴」に関わる教材が充実している。「レッスン」など、書くことの技能やこつを学ぶことができる小教材が位置付けられており、書く力の積み上げを図ることができるよう、よく工夫されている。 ・挿絵を見て様子を伝える日記や記事を書いたり、クイズを書いたりするなど、目的をもち既習の漢字を学ぶことができ、将来の社会生活で活用できるよう、よく配慮されている。 ・「書くこと」領域の「報告する文章」を書く学習において、3年生では構成面に重点を置いた学習を行う。「構成」を「はじめ・中・終わり」で示しており、「読むこと」領域の説明文での既習事項とつなげて、学習を進められるよう配慮されている。また、5年生ではレポート報告文の学習を取り上げ、資料の引用について学習できるよう配慮されている。 ・第3学年「モチモチの木」第5学年「大造じいさんとがん」等の学習の手引きでは、見開き2ページに本単元で取り組む言語活動について分かりやすく提示してある。また、「読むこと」の単元におけるめあては「～しながら読もう」のように、どのように読み進めていくかが具体的に示され、児童が主体的に学ぶことができるよう配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・第4学年「手で食べる、はしで食べる」の単元では、出口に「文化のちがいをしらべよう」が位置付けられ、日本の文化のよさを知るだけでなく、自分で調べ、考え、表現できるよう、よく配慮されている。また、日本各地の短歌や方言などを取り上げ、日本独自の文化にも着目できるよう配慮されている。 ・学習コンテンツでは、教材に関する資料やワークシートが活用できるよう配慮されている。また、第6学年では、「鎮守の森のプロジェクト」等、教材に関する外部リンクにつながるよう配慮されている。 ・第4学年「さわっておどろく」の教材では、視覚障がい者の目線で「文化」の楽しみ方が書かれている。また、児童が身の回りのユニバーサルデザインに目を向けることができるよう、点字表や資料が準備され、「書く」学習につながるよう、よく配慮されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・「読むこと」の単元の導入では、目標及び着眼点が示されている。単元の終末ではそれと整合した振り返りができるよう、よく配慮されている。学習の手引きは見開きの構成となっており、「めあてを確認する」→「学習に取り組む」→「学習を振り返る」というステップの全体を見渡すことができるよう配慮されている。心情表の記入例や手がかりとなる言葉も随所に示されており、児童が見通しをもち学習に取り組むことができるよう、よく配慮されている。 ・読書に関わる教材は、読書活動教材と図書館活用教材が位置付けられている。4年生における図書の紹介冊数は、84冊である。言葉に関わる教材は、「言葉の部屋」や「季節のたより」、漢字に関わる教材は、「漢字の広場」や「言葉をつないで文を作ろう」があり、既習の漢字を用いて文を作ったり漢字の音訓読みを練習したりできるよう、よく配慮されている。
4 表現や体裁等に関する事	・重さ 5、6年[上・下分冊] 5年…上 312g、下 292g 6年…上 297g、下 288g ・文節ごとの分かち書きは、2年[上]のP93まで、文節単位の改行は、1年[上]までなされている。1年の特殊音節や助詞の学習においては、楽器のイラスト等で視覚化や動作化が図られている。 ・単元で付けたい力を焦点化して示す「学習のてびき」や学習のポイントを示す「国語のカギ」、学習の手がかりとなる電球マーク、発展的な学習をすすめる▽マーク等がある。巻末資料には、読み物、言葉、漢字、伝統芸能が収録されている。

種 目【国語】
発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・全体的に「話すこと・聞くこと」に関わる教材が多く、対話的な学びの積み重ねができるよう配慮されている。 ・都道府県名に用いる漢字の練習があり、将来の社会生活での活用や、教科等との関連性が図られている。 ・「書くこと」領域の「報告する文章」を書く学習において、3年生では構成面に重点を置いた学習を行う。「構成」を「はじめ・中・終わり」で示しており、「読むこと」領域の説明文での既習事項とつなげて、学習を進められるよう配慮されている。また、第5学年「意見文を書く」第6学年「パンフレットを作る」という言語活動を通して、資料の引用についても学習できるよう、よく配慮されている。 ・第3学年「モチモチの木」第5学年「大造じいさんとがん」等の学習ページでは、見開き2ページに4つの学習過程を分かりやすく提示し、下段にノートや話し合い活動の例などを示している。また、単元のめあては「～に気をつけて、～を読もう」など、読むための視点をはっきりと示しており、児童が見通しをもって学ぶことができるよう、よく配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	・第2学年から第6学年において、地域に関する教材が位置付いており、児童がふるさとや地域に目を向けることができるよう、よく配慮されている。 ・学習コンテンツでは、作者紹介が充実しており、どんな立場の人が物語文や説明文等を書いているのかが分かるよう、よく配慮されている。また、宮沢賢治など、教科書に掲載された人物についての外部リンクもよく整備されている。 ・第4学年の、「身のまわりの便利なものを考えよう」「便利ということ」「調べてわかったことを発表しよう」の学習では、自分の経験と合わせて、考え、調べ、発表する構成となっており、共生社会について自分の考えがもてるよう配慮されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	・「読むこと」の単元の導入では、単元のとびらが設定され、めあてやリード文が示されている。単元終末ではそれと整合した振り返りができるよう配慮されている。学習の手引きは、学習過程が「確かめよう→考えよう→深めよう→広げよう」の4ステップで構成されている。紙面は2段組であり、下段には対話モデルや自分の読みの観点を形成するためのポイントなどが位置付けられている。 ・読書に関わる教材は、読書活動教材と図書館活用教材が位置付けられている。4年生における図書紹介冊数は、82冊である。言葉に関わる教材は、巻末「言葉の木」や単元終末の「言葉を学ぼう」、漢字に関わる教材は「○年生で学んだ漢字」があり、既習の漢字を用いて文を作ることができるよう、よく配慮されている。日本文化について触れる「文化」も配置されている。
4 表現や体裁等に関する事	・5、6年〔上・下分冊〕5年…上278g、下325g 6年…上304g、下306g ・文節ごとの分かち書きは、2年〔上〕のP93まで、文節単位の改行は、1年〔下〕までなされており、低学年の児童が理解しやすいよう、よく配慮されている。 ・他教材でも活用できる学習ポイントを示す「ここが大事」、教材中の言葉に対する問いや関連語彙の紹介をした「言葉」（「言葉を学ぼう」「言葉をふやそう」）がある。巻末資料には、読み物、言葉、漢字が収録されている。

種 目【国語】

発行者【38 光村図書出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・1年生において「言葉の特徴」に関する教材が多めに配置され、重点的に学習が進められるよう十分配慮されている。また、各領域、各事項の内容はバランスよく構成されている。 ・挿絵を見ながら案内文を書いたり、記事にしたりするなど、目的をもって既習の漢字を学ぶことができ、将来の社会生活で活用できるよう、十分配慮されている。 ・第2学年以上の「書くこと」領域の学習の初めのページに、前学年で学んだことを確かめる項目が端的に位置付けられている。「報告する文章」を書く学習では、3年生で構成、5年生で記述に重点を置いた学習を行うなど、螺旋的な学びが意識され、児童が抵抗なく学習を進められるよう、十分配慮されている。また、5年生では資料の引用について、報告文の学習だけでなく、意見文の学習でも取り上げており、同一の指導事項を繰り返し押さえることで、学習の定着が図られるよう、大変よく配慮されている。 ・第3学年「モチモチの木」第5学年「大造じいさんとがん」等の学習ページでは、見開き2ページに4つの学習過程を分かりやすく提示し、下段にノートや話し合い活動の例などが示されている。また、単元のめあては「～を読み、～を話し合おう」のように、目的をもって読むよう示され、児童が見通しをもって主体的に学ぶことができるよう、大変よく配慮されている。また、単元で付けたい力を明確にした言語活動の設定がなされており、深く学ぶことができるよう十分配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	・第4学年「世界にほこる和紙」は、岐阜県に関わりの深い和紙をとりあげた「読むこと」「書くこと」の複合単元である。多様な媒体に応じた調べ方を扱っており、「読む」から「書く」へ円滑に接続することで、自分で調べる力を育てられるよう、大変よく配慮されている。 ・どの学年においても、二次元コードによる教科書内容に連動した学習コンテンツが大変充実している。関連した写真や作者に関する情報だけでなく、鉛筆の持ち方やインタビュー、落語など多くの関連動画があり、児童の主体的な学びに役立つよう、十分配慮されている。 ・第5学年「言葉の意味が分かること」では、英語、韓国語、中国語の意味の捉え方のちがいに着目しながら、言語や文化の違いについて学習できるよう、配慮されている。また、「点字と手話」では、点字表に実際に触れることができるよう配慮されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	・「読むこと」の単元の導入では、目標、既習内容の確認、単元の扉(絵・リード文・読みの着眼点)が示されている。目標と振り返りの観点には、整合性がある。学習の手引きは、「とらえよう→ふかめよう→まとめよう→ひろげよう」の4ステップで構成され、学習の観点や思考を整理する方法、対話的な学びの姿のモデルの例示等、十分位置付けられている。 ・読書に関わる教材は、様々な読書活動教材と図書館活用教材が位置付けられている。4年生における図書紹介冊数は、81冊である。言葉に関わる教材は、「言葉の宝箱」「季節の言葉」、漢字に関わる教材は、「漢字の広場」「カンジー博士の暗号解説」があり、既習の漢字を使って文を作ったり、漢字の音訓読みが練習したりできるように十分配慮されている。情報を扱う力を養う教材は、2年生から位置付けられている。
4 表現や体裁等に関する事	・5、6年〔1冊〕 5年…510g 6年…530g ・文節ごとの分かち書きは2年〔上〕P85まで、文節単位の改行は2年〔上〕P23までなされ、低学年の児童等が理解しやすいよう、よく配慮されている。1年生の特殊音節の学習は、視覚化が図られている。 ・学習のポイントを示す「たいせつ」や学んだことを生かす「いかそう」、関連する学習内容、既習事項を示す「本↓マーク」がある。巻末資料には、読み物、言葉、漢字、他教科や日常に生かせる学び方など、多岐にわたる資料が十分収録されている。

【 種 目 】 書 写

【 発 行 者 】 5 者

2 東京書籍

11 学校図書

17 教育出版

38 光村図書出版

116 日本文教出版

種 目【書写】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・基礎的・基本的な知識・技能を段階的に身に付けることができるよう、よく工夫されている。文字を書く技能を習得する教材が1年生では13、3年生では12と、各学年において適切な量が位置付けられている。 ・初めて文字を書く1年生の導入段階では、鉛筆の持ち方が写真とともに詳しく説明されている。また、平仮名が十分練習できるよう、書き込み欄が多めに設定されている。児童が文字を書くときに、ねらいを焦点化できるよう、一文字を繰り返し練習するなど十分配慮されている。 ・初めて毛筆に取り組む3年生では、筆圧によって線の太さが変わることや、「始筆、送筆、終筆」での穂先の向きの大切さなどが、写真とともに確かめながら学ぶことができる。それに続く4年生では、点画の名前や書き方を確認するページがあり、学び直せるよう十分工夫されている。 ・文字を整えて書くために理解しておくべき「原理・原則」が、「書写のかぎ」として系統立てて配置されている。「書写のかぎ」は、自分で穴埋めしながらポイントを考えることができ、より主体的な学びになるよう、十分配慮されている。各学年の最初のページに、1年間でどのようなことを学ぶのかイラストマップとしてまとめて示されており、主体的に学ぼうとする意欲を引き出せるよう工夫されている。また、学習の振り返りでは、自分で書いた文字について話し合う活動が取り入れられ、学んだことを言葉で整理できるよう、十分工夫されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	・目次にある二次元コードにより、学習に役立つデジタルコンテンツを授業の中で活用することができる。学習前の準備や基本的な技能について、どの学年でも確認できるようよく配慮されている。3年生以上の毛筆の学習すべてにおいて、分かりやすい動画が配置されている。 ・「生活に広げよう」のページでは、インタビューメモやポスターなど他教科や領域、実生活において学んだことを生かすことができる内容が紹介されており、学習手順が細かく示されるなどよく工夫されている。 ・1、2年生は毛筆体で運筆を確認できるように水書用紙が付属している。硬筆だけではわかりにくい「はね」や「はらい」の運筆を体感することができ、硬筆での適切な所持動作につながるよう、よく配慮されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	・「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」というステップにより、1時間の流れが見開きで分かりやすく構成されている。表紙裏にある「集めて使おう 書写のかぎ」によって、前週に学習したポイントを効率的に復習することができる。毛筆教材は、同時期の単元配列がなされており、複式学級を担当する教員は、用具準備等の負担を軽減することができる。 ・運筆を「トン」「スー」「ピタッ」という擬態語で表現したり、キャラクターが注意事項やポイントを分かりやすく説明したりしているなど児童が意欲的に学習できるよう十分工夫されている。また、運筆の習得を、目で見ると、指でなぞる、声に出すなど多様な学習方法で学ぶことができるよう十分配慮されている。
4 表現や体裁等に関する事	・縦はB5、横はA4サイズで、他と比べて、紙面が広く見やすい。表面は撥水加工がされており、毛筆の使用に耐える装丁になっている。 ・専門家の検証を経た色覚の多様性に配慮したカラーUDフォントを使用している。 ・2年生以上は、冊子の左側にインデックス形式で「書写のかぎ」があり、すぐに検索できるよう配慮されている。6年生は、社会や家庭科と関連した教材において、どの「書写のかぎ」を活用すればよいか分かるよう、既習ページが記載されている。指でなぞって運筆を確認できるよう、1年生から毛書体の手本が掲載されている。

種 目【書写】

発行者【11 学校図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・ 基礎的・基本的な知識・技能を段階的に身に付けることができるよう、よく工夫されている。文字を書く技能を習得する教材が1年生では14、3年生では9と、特に毛筆学習は数を絞り位置付けられている。 ・ 初めて文字を書く1年生では、早い段階から一文字での学習だけではなく単語で学習が進められるよう工夫されている。 ・ 初めて毛筆に取り組む3年生では、筆圧によって線の太さが変わることや「始筆、送筆、終筆」の筆使い等が、筆の動きの写真によって学ぶことができる。続く4年生では、「三年生で学習したこと」として、硬筆によって学び直せるページが配置されている。 ・ 1時間の流れが一目で分かりやすい。「目当て」→「確かめて書こう」→「考えて書こう」→「生かして書こう」→「振り返ろう」のステップのまとまりごとに色分けされている。「確かめて書こう」では、教科書の文字を見ないで試し書きし、手本と比べることから課題を見いだすよう促されている。「振り返ろう」では、目当てに沿った字を実際にかくことで学びが確認できるようよく工夫されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	・ 対応した二次元コードがそれぞれのページに配置されている。そのため、タブレット等からその場で効率的に取り込むことができる。整理番号がついており、必要なものへのアクセスがしやすい。コンテンツは学年によって数種類に抑えられ、注目させたいポイントだけを強調するような動画があるなど配慮されている。 ・ 「書写の資料館」の巻末資料は、手紙の書き方など、国語の学習や実生活に生かすことができる内容が配置されている。書き込み欄が多く、書く量を確保する中で、確かな技能の定着を図ることができるよう工夫されている。 ・ 水書用紙は付属されていないが、運筆について穂先の動きと点画のつながりを紹介するページが掲載されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	・ 書けるようになるための見方・考え方を示す「書き方のカギ」と試し書きの文字を比較し、課題意識をもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。どの学年も前年度の復習から入る構成となっており、既習事項の定着を確認した上で学習を始めることができるよう配慮されている。 ・ 1・2年生には、課題の発見を助け、確かめるための「書き方のカギ」シールがついており、書く楽しさや文字への関心が高まるよう工夫されている。キャラクターの吹き出しの言葉は、気を付けることや既習事項のポイント等を想起しやすい会話形式であり、児童にとって親しみやすい配慮がなされている。
4 表現や体裁等に関する事	・ 開きやすく丈夫なB5サイズで中綴じの製本になっており、見開きで使用する毛筆学習に適している。表面は撥水加工がされており、毛筆の使用に耐える装丁になっている。 ・ UDフォントを使用。紙が薄いいためか、次ページが若干薄く透けて見える。手本と書き込み欄を上下に配置することにより、右利き・左利き両方に使いやすく配慮されている。 ・ 2文字以上の毛筆教材は、すべて半紙と同じ大きさの手本が掲載されている。

種 目【書写】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・ 基礎的・基本的な知識・技能を段階的に身に付けることができるよう、よく工夫されている。文字を書く技能を身に付ける教材が1年生では17、3年生では13と充実している。書き込み欄は少なく定着を図るための練習帳は、教科書とは別に準備する方法がとられている。 ・ 初めて文字を書く1年生では、適切に運筆する能力が身に付くよう、なぞり書きをしたり擬態語を発声したりしながら文字を獲得するよう、よく工夫されている。また、一画で書く「くつ」から二画で書く「ことり」へと段階的に学習を進めることができる。 ・ 初めて毛筆に取り組む3年生では、穂先の通り道が朱墨で示されたり、穂先の角度が比較して提示されたり、考えるヒントを示しながら学習できるよう、よく工夫されている。注目させたい穂先の部分を拡大写真により明示する工夫がなされている。続く4年生では、3年生と同じ写真を掲載し復習できるよう配慮されている。 ・ 学習の目当ては囲いで表示してあり、学習の流れは「考えよう」→「ここが大切」→「生かそう」→「振り返ろう」等、イラストと合わせて示されている。対話的な学びを促すため、「伝え合おう」では、学習形態や対話の言葉例が具体的に写真で例示され、十分工夫されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・ 目次や表紙裏に二次元コードがついており、「まなびリンク」から学びに役立つ情報を手に入れることができる。動画とともに音声による説明がなされ、分かりやすい内容となっている。学年や学期の初めにまとめて情報を取り込んでおくことにより、毛筆の苦手な教員であっても指導に生かすことができる。 ・ 新聞の書き方・手紙の書き方・伝統的な言語文化の教材を視写するなど、書写の教科書を見ながら学習したり、生活科「ありがとうカードを書く」、算数「横書きに書く」、校外学習「取材メモをする」等、他教科や領域で活用したりできる内容が十分掲載されている。 ・ 1年生は水書用紙が付属している。運筆を楽しみながら、力の入れ加減を知ることができるよう十分配慮されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・ 右ページの手本は、教材文字と単元名のみで構成されており、半紙に対する文字の位置が把握しやすい。左ページはポイントをまとめて配置してあり、どの要素がどの位置にあるのかがすぐに分かり、学びやすい工夫がなされている。1時間の学習の流れが、見開きによって一目で分かるため、効率的な学習を進めることができる。また、◎○△の3段階で自己評価ができるなど、十分工夫されている。 ・ 低学年では、運筆をキャラクターがナビゲートしており、穂先の向きが記憶に残るよう繰り返し図示されている。手紙や葉書の書き方は学年の発達段階に応じて全学年に掲載され、他教科に活用できる教材が実物・イラスト・写真で示されているなど、文字への興味・関心が高まるよう十分工夫されている。
4 表現や体裁等に関すること	・ 開きやすく丈夫なB5サイズ中綴じの製本になっており、見開きで使用する毛筆学習に適している。表面は撥水加工がされており、毛筆の使用に耐える装丁になっている ・ UDフォント・色彩等の特性を踏まえた判断しやすい配色の工夫があり、文字の組み立て等が一目で分かる。穂先の動きが朱色で示されており、見やすい。 ・ 1年生では水書用紙が付属されており、筆使いを何度でも体感できる工夫がなされている。一方、教科書と練習帳が別々になっており、机上を整える配慮が必要となる。

種 目【書写】

発行者【38 光村図書出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・基礎的・基本的な知識・技能を段階的に身に付けることができるよう、十分工夫されている。文字を書く技能を習得するための教材が、1年生では13、3年生では14と充実している。また、今日的な課題を取り上げた教材が特に高学年で十分取り上げられている。 ・初めて文字を書く1年生では、縦や横の線を書くときの手の動かし方が写真とともに説明されている。指でなぞる練習、鉛筆でなぞる練習を上下で配置し、適切に書き込めるよう、十分工夫されている。言葉の中の一文字として練習でき、語彙指導の充実に配慮している。 ・初めて毛筆に取り組む3年生では、文字を書くときに必要な点画の種類を全て紹介してから、一つ一つの部分の指導をするように組み立てられ、段階的に学習できるよう十分工夫されている。写真・イラスト・文字の配置が効果的であり、筆順が朱墨で表されたり、穂先の通り道が示されたりと分かりやすい。また、その内容も適量である。続く4年生では、点画の種類が「いつも気をつけよう」に再度位置付けてあり、復習できるよう配慮されている。 ・2年生以上は身に付けたい力が一目で分かる「たいせつ」が配置されている。「文字」の獲得から「言葉」の獲得への広がりがあり、文字習得の繰り返し学習にとどまっていない。まず、書いてみる→どう書いたらよいのか考える→話し合う→確かめる→技能定着のための練習をするという主体的・対話的な学びができるよう、十分工夫されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	・対応した二次元コードがそれぞれのページに配置されている。特に、毛筆の学習では、手本と同じページの隅に二次元コードがあり、見本となる動画を読み取り、児童に示すことができる。全学年が共通して用具等の準備の動画が入っており、年度当初の授業開きで活用することができる。よって、学年間の統一した指導を十分行うことができる。 ・短歌を書く(国語)・手紙を書く(総合)・数字を書く(算数)・観察カードを書く(理科)・新聞にまとめる(社会)・ローマ字を書く(外国語)等、他教科や領域、実生活に生かすことができる内容が掲載されている。 ・1年生は毛筆体で運筆を確認できるよう水書用紙が付属し、硬筆に生きるよう工夫されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	・見開きで1時間の指導内容とし、左ページに手本、右ページに指導内容が掲載されている。3年生以上は①文字の書き方の原理・原則を「考える」②毛筆で「確かめる」③硬筆に「生かす」という流れがひとまとまりになっており、児童も教員も効率よく学習を進めることができる。学年ごとのコンテンツの数が多く、特に毛筆の苦手な教員も分かりやすく指導ができるよう十分配慮されている。 ・キャラクターが擬音語とともに運筆をナビゲートし、「とん・すー・とん」等の技能について理解を確かにできるよう工夫されている。毛筆の手本には、本時のポイントが分かる小さな文字が右上や左下に書かれており、きめ細かく支援している。毛筆の導入段階である3年生ではシールが準備され、達成感を味わいながら自己評価できるよう配慮されている。また、学年に応じた各教科のノートの書き方指導があり、十分活用することができる。
4 表現や体裁等に関する事	・開きやすく丈夫なB5版・中綴じの製本になっている。表面は撥水加工がされており、毛筆の使用に耐える装丁になっている。 ・専門家による校閲を受けたカラーUDフォント。左右どちらの利き手であっても書きやすいよう工夫されている。大事なことを大きく掲載するなど紙面にメリハリがある。 ・1年生から手本が毛筆体になっており、毛筆へのスムーズな移行につなげることができる。また、書く力を伸ばす6年生の書写ブックや巻末の資料が充実している。

種 目【書写】

発行者【116 日本文教出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・ 基礎的・基本的な知識・技能を段階的に身に付けることができるよう、よく工夫されている。文字を書く技能を習得するための教材が、1年生では14、3年生では16と充実している。 ・ 初めて文字を書く1年生では、とめ、はらいの学習の前に「かきじゅん」の学習が位置付けられ、なぞり書きの書き始めが分かる「指マーク」や矢印を見ながら動かすことにより、文字感覚を捉えやすいよう、よく工夫されている。 ・ 初めての毛筆に取り組む3年生では、穂先の向きや筆圧によって文字の太さが変わること等、「トン・スー・ピタッ」「ちょん とん ぐうっ」等の擬態語やイメージをつかむためのイラスト、写真等で細かく確かめながら学ぶことができるよう、よく工夫されている。続く4年生では、穂先の向きや筆圧について、「点画の種類」に再度学習のポイントとして示され、復習できるよう、よく配慮されている。 ・ 全学年で「書写学習の進め方」が掲載され、子供たちの自発的な学習が促されている。「考える」→「確かめる」→「いかす」の段階によって学習を進め、「いかす」では、同じような組み立てをもつ他の文字が掲載され、言葉や文を書く活動につなげている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	・ ホームページ上に、学習の参考となる動画が紹介されている。数は少なく、教科書に二次元コード等がないため、あらかじめ準備が必要となる。 ・ 巻末資料として手紙の書き方や原稿用紙の使い方、掲示物の書き方が紹介されている。また、語彙を扱った教材を「言葉のまど」として全学年に掲載している。低学年では仲間の言葉集め、中学年では様子を詳しく表す言葉、高学年では表現力を高める言葉などが取り入れられ、国語や実生活に生かすことができる。 ・ 1・2年生は毛書体で運筆が確認できるよう水書用紙が付属している。硬筆での適切な所持動作につながるよう、よく配慮されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	・ 見開きで学習が進められるように配慮されている。導入の「考える」段階で、2パターンの文字や文例を提示し比較することを通して課題を焦点化させるなど、書く時間を確保し、効率的な授業展開ができるよう、十分工夫されている。 ・ 運筆の習得を進めるため、目で見ると、指でなぞる、声に出すなど多様な方法が掲載されている。キャラクターによる問いかけが随所にあり、それが学習するポイントを考える手立てとなっている。姿勢や鉛筆の持ち方の写真やイラストを、ポイントを明示しながら巻頭に載せることで、児童がいつでも確認できるよう、よく配慮されている。日常生活の「書く」場面を意識した教材が全学年に位置付いている。
4 表現や体裁等に関する事	・ B5サイズで、表面は撥水加工がされており、毛筆の使用に耐える装丁になっている。 ・ UDフォントを使用。教科書への書き込み欄を手本文字の下に配置し、右利きでも左利きでも手本を見ながら書けるようにレイアウトが工夫されている。 ・ 指でなぞって運筆を確認できるように、1年生から毛筆の書体に近い文字や点描の手本を掲載している。

【種目】 社 会

【発行者】 3 者

2 東京書籍

17 教育出版

116 日本文教出版

種 目【社会】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・基礎的な知識の習得を図るため、重要語句が「ことば」のコーナーとして位置付けられ、1つの語句について80～100文字程の解説がある。全学年で206の語句が掲載されている。 ・基礎的な技能の習得を図るため、提示資料の近くに「まなび方コーナー」が位置付けられ、「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・伝える」の3視点でそれぞれの資料の読み取り方などが提示されている。 ・各時間に、その時間に活用する見方や考え方について、「広がり」「時間」「関係するところ」「くらべる、わかる、まとめる、つなげる」の4種類のマークを使って具体的に示している。 ・全学年で取り上げられている「社会で生きる人の話」は143人分。取り上げた人物について、自らの考えを深めたり、自らの生き方に生かしたりできるように位置付けられているところがある。 ・大単元、小単元、一単位時間の学習課題がそれぞれ明示されており、単元全体を通して系統的に問題解決的な学習に取り組める構成になっている。 ・学習問題の設定、予想、課題追究、学習の振り返りの場面等で話し合い活動が設定されている。また、単元の終末では、自分の考えを問うような問題提起が多く単元でされている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・岐阜県に関わる事例や資料は、全学年合計で8か所。そのうち、5年生(上)「低い土地のくらし」は、単元全体で海津市を取り上げている。 ・木曽川や中津川市の給食、トヨタ自動車など、東濃地方の児童にとって身近な事例が取り上げられている。 ・デジタル教材数は、全学年合計で、動画10・資料3・HPリンク6・学習クイズ28となっている。学習クイズが多く、学習の定着状況を確認できる内容となっている。 ・補充的・発展的な学習に取り組めるように多くの単元の終末に「いかす」「ひろげる」が位置付けられている。「いかす」は、社会的事象を自分事としてとらえる内容となっており、「ひろげる」は、学習したことをもとに他の学習にも目を向けることができる構成となっている。 ・補充的・発展的な学習に取り組むための学習活動の分量は、3年14P、4年28P、5年42P、6年34Pとなっている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・単元の導入では、学ぶ視点が明確にされた学習課題が提示されている。各ページでは「つかむ」「調べる」「まとめる」「生かす」と単位時間の位置付けが明記され、単位時間の学習課題も具体的に示されている。 ・3年生「市の様子」において、市の土地利用や発展の変遷について全て同じ地図資料を活用しているように、単元の中で同じ資料を一貫して活用したり比較しやすい資料を使用したりしている。 ・「Dマーク」として、インターネット学習へつなげるキーワードが示されていたり、「教科かんれんマーク」として、他教科との関連が示されたりしている。 ・「活用のポイント」(アニメキャラクターで位置付け)が示され、社会的な見方・考え方で学びを進める工夫がされている。
4 表現や体裁等に関すること	・本文にUDフォントを採用。カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮している。 ・目次に「まなび方コーナー」の一覧が示されている。「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・伝える」に分類されている。 ・5, 6年生は2冊に分かれている。 ・各学年の1つ目の単元の途中で学習の流れが示されている。 ・索引はことば、地名、国名、人名を分類して掲載している。 ・巻末で社会的な見方・考え方を紹介している。

種 目【社会】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・基礎的な知識の習得を図るため、重要語句が「キーワード」として位置付けられている。その他、難しい語句についての解説がある。全学年で104の語句が掲載されている。 ・基礎的な技能の習得を図るため、提示資料の近くに「学びのてびき」が位置付けられ、「集める」「読み取る」「表す」の3視点で資料の読み取り方などが提示されている。 ・社会的な見方・考え方について、主に単元の導入で単元の学習で活用する見方や考え方を、イラストの吹き出しで例示している。 ・全学年で取り上げられている「社会で生きる人の話」は185人分。学習の内容がより実感できるように、工夫や願いが掲載されている。 ・一単位時間の学習課題と次時への見通しがそれぞれ明示されており、単元全体を通して系統的に問題解決的な学習に取り組める構成になっている。 ・学習問題の設定、予想、課題追究、学習の振り返りの場面等で話し合い活動が設定されている。また、単元の終末では、異なる立場など様々な視点から自分の考えを確かめられるような問題提起もされている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・岐阜県に関わる事例や資料は、全学年合計で6か所取り上げられている。 ・3年生のコラムで岐阜市が、6年生のコラムで杉原千畝が取り上げられている。 ・デジタル教材数は、5年生だけで、動画12・資料3・HPリンク19・ワークシート7となっている。なお、5年生以外は作成中となっていた。 ・教科書の内容を補足する動画が、数多く用意されており、授業で活用しやすいように構成されている。 ・補充的・発展的な学習に取り組めるように多くの単元の終末に「つなげる」「ひろげる」が位置付けられている。「つなげる」は、社会的事象を自分事としてとらえる内容となっており、「ひろげる」は、児童の興味を引くようなページ構成や補足資料として使えるようなコラムとなっているページが多い。 ・補充的・発展的な学習に取り組むための学習活動の分量は、3年12P、4年10P、5年11P、6年23Pとなっている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・一単位時間毎に学習課題が「この時間の問い」として具体的に示され、学習のつながりが「次につなげよう」として示されている。 ・学習課題は「どのような」「どのように」「なぜ」と視点に多様性がある。 ・4年生「ごみはどこへ」において、ごみの量や生活スタイルの変化、人々の取り組みについて考える資料が提示されているように、解決すべき諸問題や自分の生活を考えるための根拠となる具体的な資料が豊富にある。 ・「まなびリンク」として、インターネット学習へつなげるアドレスや二次元コードが提示されている。
4 表現や体裁等に関すること	・本文にUDフォントを採用。カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・目次に「学びのてびき」の一覧が示されている。「集める」「読み取る」「表す」に分類されている。 ・どの学年も一冊となっている。 ・各学年の冒頭に学習の流れ、社会科の見方や考え方、他教科との関わりが示されている。 ・索引はキーワードを掲載している。

種 目【社会】

発行者【116 日本文教出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・基礎的な知識の習得を図るため、重要語句が「キーワード」として位置付けられ 30～60 文字程の解説がある。難解語句は、「むずかしい言葉」として説明がある。全学年で 239 の語句が掲載されている。 ・基礎的な技能の習得を図るため、提示資料の近くに「学び方・調べ方コーナー」が位置付けられ、「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の 3 視点で資料の読み取り方などが提示されている。全学年で 78 か所ある。 ・その時間に活用する見方や考え方について、「空間」「時間」「関係」の 3 種類のマークを使って具体的に示されているところがある。 ・全学年で取り上げられている「社会で生きる人の話」は 174 人分。学習の内容がより実感できるように、工夫や願いが掲載されている。 ・小単元の課題と一単位時間の学習課題が明示されており、単元を通して考えるべきことが明確になっている。 ・学習問題の設定、学習の振り返りの場面等で話し合い活動が設定されている。また、単元の終末では、改めて単元の学習問題を提示して考えられるように構成されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	・岐阜県に関わる事例や資料は、全学年合計で 6 か所。そのうち、5 年生「低地に住む岐阜県海津市の人々の暮らし」は、単元全体で海津市を取り上げている。 ・6 年生「江戸に幕府を開いた徳川家康」において、関ヶ原の場所が地図上で明示されている。 ・デジタル教材数は、全学年合計で、動画 21・資料 8・HP リンク 2・問題 1 となっている。なお、一部のコンテンツは作成中となっていた。 ・動画や画像資料が多く作成されており、授業中に活用しやすい構成となっている。 ・補充的・発展的な学習に取り組むために「わたしたちの学びを生かそう」というページが設定されている。学習活動の分量は、3 年 8 P、4 年 12 P、5 年 10 P、6 年 14 P となっている。 ・補充的な学習内容が「やってみようコーナー」として欄外に位置付けられている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	・一単位時間の学習課題が、「？」(キャラクターによる疑問)として具体的に示されている。本文中のキャラクターの会話に「!」「?」が位置付けられ、会話の内容が可視化されている。 ・5 年生「米作りのさかんな地域」において、米作りの工程カレンダーについて作業の様子と米のつながりが具体的に提示されているように、資料同士の関連が図られている。 ・「デジタルマーク」として、インターネット学習へつなげるアドレスが提示されている。 ・「やってみようコーナー」や「見方・考え方コーナー」が示され、より発展的に学んだり、社会的な見方・考え方で学び進めたりする工夫がされている。
4 表現や体裁等に関する事	・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・資料が大判で印刷も明瞭で見やすい。 ・どの学年も一冊となっている。 ・全学年で重要語句がフォントを変え強調している。 ・目次に「学び方・調べ方のコーナー」の一覧が示されている。「見る・調べる」「読み取る」「表現する」に分類されている。 ・各学年の冒頭に教科書の使い方、学習の流れが示されている。 ・索引はことがら、地名、国名、人名に分類されており、日本国内の地名は地図上に記載されている。

【種目】 地図

【発行者】 2 者

2 東京書籍

46 帝国書院

種 目【地図】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・内容別ページ数は、日本 38P 世界 15P 資料 21P その他 28P となっている。 ・地図のしくみや使い方を説明している。(P 7～14 計 8 ページ) ・日本の領土・領海を囲みの線で提示し、日本固有の領土の写真を各地方の地図に掲載し、現状を説明している。(P 15, 16) ・日本の自然の様子を地形図やグラフ等で説明し、月による違いや世界の地形との比較ができる。(P 69, 70 計 4 ページ) ・自然災害について、地図や写真などの資料が掲載されている。(P 99～101 計 3 ページ) ・日本の産業の様子を地図や写真で説明している。(P 71～72 計 2 ページ) ・3年生からの活用で、絵→絵地図→地図と段階的に示している。(P 7～12 計 6 ページ) ・6年生の歴史学習との関連で、年表・世界地図・世界遺産を掲載されている (P 77～80 計 4 ページ) ・各教科との関連が図られている。 国語 地図：イラスト：金子みすず記念館等 P 27 音楽 地図：イラスト：ベートーベン等 P 63 外国語 世界地図の国名を欧文表記 P 55～68 理科 日本の自然災害の資料図 P 97～99 家庭 世界の料理・日本の郷土料理 P 64, 84
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	・岐阜県の地図上のイラストは 22、岐阜県に関わる資料が 2 取り上げられている。 ・「都道府県クイズ」、「地図記号分かるかなクイズ」、「気候クイズ」等が 8 ページあり、授業だけでなく、家庭学習に利用できるように配置している。また、各省庁のキッズコーナーや子どもサイト (7 サイト) にリンクしており、調べ学習に利用しやすいように配置している。 ・初めて地図を扱う 3 年生に、地図の成り立ちの手順が写真と絵を使って、俯瞰図から真上、地図への移行が 8 ページにわたって見やすく配置している。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	・凡例、索引、方位、縮尺等の地図帳の使い方や説明が 17 ページに明記されており、社会科の用語は絵図や表を使って具体的に説明している。 ・キャラクター (10 種類) の吹き出しの言葉が、学習の手掛かりになっている。 ・4 7 都道府県を、クイズなどの作業を行いながら、楽しく学べるように構成されている。また、索引に□欄があり、調べた地名等の履歴が残ることで、児童の学習意欲を高めるようにしている。 ・キャラクター (10 種類) の吹き出しの質問に答えられるようになっている。また、児童の関心・意欲を高め、地図活用の技術の定着を図るように構成されている。 ・6年生の歴史学習をしながら、当時の世界や日本の歴史地図 (4 ページ) と併せてとらえるようになっている。
4 表現や体裁等に関する事	・総ページ数…102 ページ ・ A 4 判 ・重量…376g ・地形図の色は、濃い着色になっている。 ・索引の行間が広く、10 ページを使っている。 ・索引は、黒、赤の 2 色で記している。 ・索引欄に、チェック欄を設けている。

種 目【地図】

発行者【46 帝国書院】

調査項目	意 見
1 学習指導要領改訂の趣旨及び内容に関すること	・ 内容別ページ数 日本 52P 世界 12P 資料 18P その他 38P となっている。 ・ 地図のしくみや使い方が多数の資料を使い、作業的学習を設けて説明している。(P 7～18 計 12 ページ) ・ 日本の領土・領海を地図の色と囲みの線で分かりやすく提示し、日本固有の領土の写真を掲載し、現状を説明している。(P29, 30) ・ 日本の自然の様子を地形図やグラフ等で説明し、季節による違いや世界の地形との比較ができる。(P87～90 計 4 ページ) 5年生の学習(高地のくらし)でも活用できる。(P88) ・ 自然災害と防災について、地図や写真、年表等の資料が多数掲載されている。(P91～94 計 4 ページ) ・ 日本の産業の様子を地図や写真、グラフで説明している。交通とも関連付けている。(P97～100 計 4 ページ) ・ 3年生からの活用で、写真・絵→絵地図→地図と段階的に示している。(P 7～18 計 12 ページ) 大きなイラストを多数掲載し、文字も大きくて見やすい「広く見わたす地図」が掲載されている。(P19～28 計 10 ページ) ・ 6年生の歴史学習との関連で、年表・世界遺産を掲載 (P101、102 計 2 ページ) ・ 各教科との関連が図られている。 国語 地図：物語の舞台：ハリーポッター等 P81～86 音楽 地図：音楽の舞台：ベートーベン等 P81、86 外国語 世界地図に 14 か国語の挨拶 P 1～3 外国語 世界地図の国名を欧文表記 P 1～3 理科 日本の自然災害と防災の取組 P91～94
2 岐阜県教育振興基本計画(第 3 次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・ 岐阜県の地図上のイラストは 18 岐阜県に関わる資料が 2 取り上げられている。低い土地の利用で輪中が掲載されている。 ・ 東濃地区にも下請け工場があり、社会見学にも行くトヨタ自動車に関する記載が 3 ページあり、東濃地区と愛知県が記載された地図と豊田市を中心とした地図が取り上げられている。 ・ 38 ある二次元コードを使うと、そのページに関連したコンテンツが直接利用できる。 ・ 初めて地図帳を使う 3 年生が使いやすいように、地図の成り立ちや方位、地図記号等を 1 2 ページにわたり、「地図のやくそく：3 つ」や、「トライ！：5 つ」掲載されている。
3 東濃地区及び児童の豊かな心と体力の育成に関すること	・ 地図の成り立ちが分かる基礎的、基本的な内容や地図帳の使い方が、12 ページにわたり説明されている。 ・ 地図を初めて使用する 3 年生のために「トライ！」が掲載されている。また、「地図マスターへの道 (80 問)」があり、「まとめのぬりつぶし」で確認できる構成になっている。
4 表現や体裁等に関すること	・ 総ページ数…120 ページ ・ A4 判 ・ 重量…337g ・ 地形図の色は、明るい着色となっている。 ・ 索引の行間はやや狭く、9 ページを使っている。 ・ 索引は、黒、赤、青、緑の 4 色で記している。 ・ 色覚特性への配慮がされている。「果樹園」や「畑」、「田」などには色の下に紋様(地紋)を入れて見えるようにしている。P51, 52

【 種 目 】 算 数

【 発 行 者 】 6 者

2 東京書籍

4 大日本図書

11 学校図書

17 教育出版

61 新興出版社啓林館

116 日本文教出版

種 目【算数】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導要領改訂の趣旨及び内容に関すること	・「180°を超える角度の測定」について、まず角度のおよその見通しをもち見当付けてから、考え方の説明において分度器を透過させることで測り方を理解しやすくしている。さらに類題で、2つの考え方を説明させることで、確かな理解ができるよう十分配慮されている。 ・4年生「複合図形の求積」では、まず求め方の計画を立てた上で付録の図形を実際に操作させながら自分の考えを書かせる。3つの考え方を比較し共通性を問い、既習の長方形や正方形に帰着することに気付かせ、まとめた上で類題を解かせることで、数学的な見方・考え方を働かせ、自ら学びを深めることができるよう十分配慮されている。 ・「学びに向かう力・人間性」の涵養については、「ますりん通信」でこれまで学習したことをさらに発展させて考えよう配慮されている。 ・乗除の演算決定において、3年生でテープ図と数直線を並べて表記し、4年生で2本の数直線の間にテープ図を入れて、2本の数直線へと移行し系統的に学ぶことができるようによく配慮されている。巻末に図の書き方、使い方がまとめられ、理解の助けになっている。 ・「今日の深い学び」では、主体的・対話的で深い学びの問題解決のモデルとなる過程を詳しく可視化している。「つないでいこう算数の目」では単元の内容と既習の内容をつなげて、『大切な見方や考え方』が確かめられるような構成上の十分な配慮がなされている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・5年生下「算数でよみとろう」の中で、岐阜県のデータが入っており、他県の比較しながら岐阜県のことについても考えることができる。 ・デジタルコンテンツの数は85個ある。内容としては、「動かす」「練習する」「かき方を見る」などがあり、インターネットを使って家庭学習をサポートできるよう配慮されている。教科書にデジタルコンテンツが使用できるマークがあり、その内容が記されているのでそれを見て適宜使うことができるよう十分工夫されている。 ・プログラミング学習について、5年生の上と下に1つずつ、6年生にも1つ配置されており、パソコンで体験することができるよう、十分配慮されている。 ・単元のまとめ「たしかめよう」では、一問一問にヒントとなる問いかけと学習したページ数が示されていたり、巻末に2ページで既習内容をまとめた「ふりかえりコーナー」があったり、全国学調や各種学力調査からみられる弱さを克服するための問題が載せられていたり、個の学習を支援できるよう配慮されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・毎時間、めあてとまとめが明示され、数学的な見方・考え方の具体的な記述により、子どもが考える余地を残しながら学習の流れがていねいに可視化されている。 ・子どもキャラクターの吹き出しで、本時の学習を振り返ったり、既習の内容と統合したり、発展的に次の学習を想起したりしている。 ・単元の導入では、既習と未習の共通点と相違点という視点が明示され、既習内容を整理し振り返ったり、イラストによる場面設定で学習意欲を高めたりできるよう配慮されている。 ・章末の問題を「いかしてみよう」「たしかめよう」「つないでいこう」と段階的に分け、巻末に補充問題を設けるなど、児童の学習状況に幅広く柔軟に対応できるよう配慮されている。
4 表現や体裁等に関すること	・本文にユニバーサルデザイン教科書体を使用し、目に優しい中間色を基調にしつつ、使用する色数を抑えながら、鮮明でめりはりのあるデザインにするなど、学習に集中しやすい紙面づくりがなされている。 ・1年生：A4判、それ以外：B5版 6年生 重さ468g 282P 算数用語の索引数 合計352 6年生のみ合冊 ・目次は巻頭に単元ごとに「前の学習」「後の学習」を示し、学習のつながりや見通しを自覚できるよう配慮されている。

種 目【算数】

発行者【4 大日本図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・「180°を超える角度の測定」について、色分けをした図を示すことで測定の仕方をとらえやすくしている。また図・式・言葉を関連付けて説明させることで、考え方と計算の仕方の両方を正しく理解できるよう十分配慮されている。 ・4年生「複合図形の求積」では、付録の図を用いて考えたり説明したりすることができるようになっている。3つの考えを扱い、図・式・言葉を関連付けて説明させた後、共通性を見出す問いをしている。ひらめきアイテムの「分ける」を用いてまとめをすることで数学的な見方・考え方に気付くよう十分配慮されている。 ・「学びに向かう力・人間性」の涵養については、「なるほど算数教室」で学習したことを昔の算数の内容などにつなげることでさらに興味・関心を高める工夫が多くなされている。 ・多くの乗除の演算決定において、3年生でテープ図と数直線を並べて表記し、テープ図と数直線、2本の数直線を並べて表記しながら2本数直線へ移行し、系統的に学ぶことができるように十分配慮されている。数直線の書き方、使い方が詳しくまとめられ理解の助けになっている。 ・単元末では、基本事項の確認、わけを説明する問題、応用問題もあり、個に習熟度に応じたバランスの良い構成となっている。「算数たまたばこ」「読み取る力をのばそう」では、学習したことを生活場面などに広げた問題が位置付けられており、十分な配慮がなされている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・4年生「小数」では、小数を使って表す問題として「恵那山トンネル」の長さが扱われている。また、図形分野に関わる学習での記載が多く、どの学年でも郷土への愛着を味わうことができるよう十分配慮されている。 ・デジタルコンテンツの量は81個ある。内容としては、「使い方の動画」「グラフや数直線のかき方」「練習問題」、1～3年生の「おうちで算数」などがあり、インターネットを使って家庭学習をサポートできるよう十分配慮されている。特に児童が苦手とする演算決定に数直線を用い自分で完成させて立式に導くコンテンツが数値を変え数多くできるよう工夫されている。また、デジタルコンテンツのマークの下に内容が示されるように十分工夫もされている。 ・プログラミング学習は1～4年生はその素地を育てる学習になっている。また、5、6年生はプログラムの作成ができるよう6年間を通して段階的に学習できるよう十分配慮されている。 ・個の学習を支援するために、単元の「たしかめ」のページだけでなく、単元途中でも「同学年で学習したこと」、「前の学年に戻ること（巻末の○年生のまとめ）」が分かるように矢印の向きとページ数を示す配慮が十分されている。また、算数の面白い問題やお話など算数への興味・関心を引き出すことができるコーナーが工夫されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・学習のめあてを毎時間に設け、授業の流れをイメージできるような紙面構成で、ひと目で指導のねらいがわかるようにしている。 ・授業場面の写真や板書の様子を用い、多様な解決方法を比較検討する話し合い場面を例示し、学習を深めていく様子が示されている。 ・単元の導入では、日常生活の中の事象を取り上げたり、既習の学習と比べ疑問や問題を見いだしたり、学習意欲を喚起し主体的に学習に取り組めたりするような題材を扱っている。 ・章末の「たしかめ問題」では、思考力・判断力・表現力を問う問題を取り入れたり、巻末補充問題や復習問題を充実させたり、前の学年までの既習事項が確認できるまとめを設定したりするなど、児童の理解や習熟の状況に応じて学習が進められるよう配慮されている。
4 表現や体裁等に関すること	・本文にユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインをふまえて配色の工夫を行い、見やすく使いやすいよう配慮されている。 ・B5版 6年生 重さ442g 269P 算数用語の索引数 合計180 全学年合冊 ・目次は巻頭に単元名と小単元の一覧があり、各単元に関連する既習の学習や以降の学習が記載されていて、学習のつながりや見通しを自覚できるよう配慮されている。

種 目【算数】

発行者【11 学校図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・「180°を超える角度の測定」について、図と式を並べて示し、関連付けて説明できるようにしている。全円分度器を用いて、角の大きさを視覚的に捉えやすいよう配慮されている。 ・4年生「複合図形の求積」では、4つの考え方を比較検討し、いつでも使える考えを問うことで、既習の長方形や正方形に帰着して考えることのよさに気付くようよく配慮されている。 ・「学びに向かう力・人間性」の涵養については、「なるほど算数」では学習したことを発展させて中学校の数学とつながるような内容が位置付けられており、さらに学ぼうとする意欲を高める工夫がある。 ・乗除の演算決定において、3年生で、テープ図と数直線を並べて表記し、5年生で2本の数直線に移行し、系統的に学ぶことができるようによく配慮されている。また、表や図を活用して数量を整理する表記を併用し、理解の助けになっている。 ・「ふりかえろう つなげよう」では、新たな問題を解決するために既習の内容をつなげる構成となっている。「生活にいかす、深めよう」では、学習したことが生活場面に活用されている事例や中学校の数学につながる内容があり、発展的に学べるようよく工夫がされている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・5年生「速さ」の学習の導入で東濃地区を通る「リニア」を用いた練習問題があり、身近に感じられるよう配慮されている。 ・デジタルコンテンツの数は、33個ある。内容としては、「書き方の動画」「PDFによる学期毎の復習問題」「統計資料を見るための他機関へのリンク」がありQRコードで読み取ることができるよう配慮されている。プログラミング学習は、1年生から配置され、ゲーム感覚でパソコンやタブレットに慣れるような配慮がされている。学年が上がる毎に徐々にプログラミング試行、論理的思考が身に付くことができるよう工夫されている。 ・既習事項に対しての振り返りのページ指示はないが、その単元を学習するにあたっての数学的な見方・考え方を示す言葉や、本時必要な既習内容を吹き出しで示したりするなどして、個の学習を支援する配慮がなされている。また、6年生には6年間のまとめや進学に向け「算数でみつけた考え方」と「中学校へのかけ橋」が別冊扱いの教科書として配置されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・「解決したいな」「話したいな」「やってみたいな」の3つの学び方を示し、教科書の左側のラインで1時間の授業の目安を表示することで、思考の流れが一目でわかるよう構成されている。 ・ページ右側の側注に重要な見方・考え方を示す「モンスター」を設け、見方・考え方を明確にし、自ら課題を解決していけるよう配慮されている。 ・単元の導入では、できるだけ日常場面を採用し、問題把握をしやすいようにイラストで表示することで児童の興味・関心を促すよう配慮されている。 ・章末の問題を「できるようになったこと」「学びをいかそう」「深めよう」と段階的に分け、児童の習熟の程度に応じた学習ができるよう配慮されている。
4 表現や体裁等に関すること	・本文に硬筆体を使用し、写真の切り抜きを多用し、紙面の空白部分を増やすことで、目にかかる負担を少なくするよう配慮されている。 ・AB版 6年生 重さ 482g(別冊 114g) 298p 算数用語の索引数 合計 239 6年生のみ合冊(6年別冊あり) ・目次は2ページ目に設けられ、単元名の下に児童にも分かりやすい言葉で「単元のねらい」を示し、児童がねらいをもって学習に取り組むことができるように工夫されている。

種 目【算数】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・「180°を超える角度の測定」について、まず直角の何個分かで答えの見当を付けさせている。2つの考えの説明では、分度器を透過させた図を示したり、補助線を引かせたりすることで測定の手順が明らかになるようよく配慮されている。 ・4年生「複合図形の求積」では、まず式を図に表す、または図を式に表して説明をさせ、図と式を結び付けて考えさせている。次に4つの考え方を比較検討し、共通性や相違性を見付けさせ、既習の求積公式が使えることに気付くようよく配慮されている。 ・「学びに向かう力・人間性」の涵養については、「算数ワールド」では全学年に位置づいており実際に操作することで発展的な内容に興味をもてるような工夫がある。 ・乗除の演算決定において、3年生（上）巻末トピックス以降、2本の数直線で表記されている。場面と関わりのある絵を用いて図の理解を助け、言葉での説明が大切にされている。 ・「学んだことを使おう」では、具体的な生活場面を算数の問題としてとらえ解決する問題が位置づいている。学習したことを活用すれば解決することを通して、学んだことと生活とをつなげて考え、その有用性が実感できようよく配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・故郷や地域への誇りと愛着をはぐくむための工夫としての問題の取り扱いや岐阜県にかかわる写真などの掲載は見あたらなかった。 ・デジタルコンテンツの数は、131 個ある。内容としては、「使い方の動画」「統計資料を引き出すための他機関とリンク」「グラフ作成や立体を回転させて見せる」「フラッシュカード」などが『学びリンク』というマークで示されており、巻頭にあるQRコードで学年の内容を一括で読み取り使用できるよう配慮されている。 プログラミング学習は、5年生のみの扱いで、独自開発のプログラミングツールを使って、「正多角形の作図」のねらいに即した授業ができるよう単元の中に配置されている。 ・単元の「まとめ」のページだけでなく、単元途中でも「同学年に学習したこと」、「前の学年に戻ること（巻末の学びのマップ）」が分かるように矢印の向きとページ数を示す配慮がなされている。特に学びの手引き5年生の教科書では14 ページにわたり前学年までに学習したことがまとめられ、個の学習を支援できる配慮がなされている。また、巻末に自分で取り組む「ステップアップ算数」「広がる算数」があり、個のニーズを満たす配慮がなされている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・「はてな」から学習のめあてをつくり、見方・考え方を「なるほど」でまとめ、新たな問い「だったら」へつなげられるように展開が明確に構成されている。 ・問題解決を通して見いだした見方・考え方を吹き出しでまとめ、次時の問題につなげるよう工夫されている。 ・単元の導入では、身近な題材から算数の問題を見出したり、既習事項を発展させて新たな問題を作ったりできるように構成されている。 ・章末問題では、「ふりかえろう」「たしかめよう」「学んだことをつかおう」で構成され、知識、技能、見方・考え方に分けて基礎・基本を定着し、巻末の「学びの手引き」で既習の内容をまとめ、系統を意識して学べるよう配慮されている。
4 表現や体裁等に関すること	・本文にユニバーサルデザインフォント教科書体を使用し、識別しやすい配色を用いて落ち着いたタッチのイラストを用いて学習に集中できるよう配慮されている。 ・B5版 6年生 重さ450g 276p 算数用語の索引数 合計414 1年生、5年生、6年生のみ合冊 ・目次は巻頭に単元名と前の学習内容とのつながりが分かるように示されている。

種 目【算数】

発行者【61 新興出版社啓林館】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・「180°を超える角度の測定」について、単元の初めに作成したおうぎを用いて半回転・一回転の角の大きさを調べ、それをもとにまず見当を付けさせている。分度器を透過させた図と式を並べて示し、測定の手順と計算をつなげて説明できるようにして、測定方法が視覚的に分かりやすくなるようよく配慮されている。 ・4年生「複合図形の求積」では、まず図のみを示し、考え方の説明をさせる。次に1つの考えについて図と式を並べ、説明のしかたのモデルを示した上で、他の考え方で面積を求めさせることで、学びを深められるようよく配慮されている。 ・「学びに向かう力・人間性」の涵養については、「わくわく算数ひろば」で学んだことを日常生活とつなげて考えることで新しい課題が解決できることが実感できるように配慮がなされており、そのために多くのページが使われている。 ・乗除の演算決定において、4年生でテープ図と数直線を並べて表記し、5年生で2本の数直線に移行し、系統的に学習できるよう配慮されている。また、2種類の図（直線・矢印）を用いて学習し、理解の助けになっている。 ・単元末に「たしかめよう」の基本問題、「ふりかえろう」で学習の感想、「やってみよう」で発展させる構成となっており、学びを深める工夫がなされている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・5年生「速さ」の学習では、単元導入の挿絵(写真)と練習問題に「リニア」が取り上げられており、身近に感じられるよう配慮されている。 ・デジタルコンテンツの数は、363個と最も多く教科書の至る所にQRコードで示してある。内容としては、全ての単元導入前に「じゅんぴ」(レディネスチェック)と単元末の「たしかめよう」(練習)や「図や図形、数直線図のかき方」や「求め方の違い」を見せる動画、「他機関とリンクして資料を見る(NHK for school など)」ものなどがある。家庭学習を自主的に進められるようにクリックするとマスクが外れて解答が出てきたり、分からないときにはヒントが出てきたりするように十分配慮されている。プログラミング学習は、実際に操作するものが5、6年生で1つずつ入っているが、2年生を除く他の学年でもQRコードの上にPマークをつけて、プログラミング思考を育てる学習であることを示す工夫が十分されている。 ・キャリア教育に関わるインタビュー動画があり、仕事と算数の関わりを学ぶことができる。単位時間の導入時に若葉マークの吹き出しの言葉があることで、既習のどんなことに目を向けて問題と向き合ったらよいか分かる工夫がされている。また、巻末には補充問題「もっと練習」があり、練習問題と挑戦問題に別れ、個々のニーズに対応できるようによく工夫されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・毎時間、めあてとめあてにつながる見通しや気付きが示され、児童が課題意識をもって学習に取り組めるよう配慮されている。 ・吹き出しで着目すべきポイントを取り上げたり、考え方のプロセスを丁寧に示したりすることで、理解を深められるよう工夫されている。 ・単元の導入では、日常生活や既習の内容と関連付けて、課題意識や見通しをもって学習に取り組める場面が設定されている。 ・「じゅんぴ」でレディネスチェックを行ったり、巻末の「もっと練習」で基本の補充問題と少しレベルの高い挑戦問題に取り組んだり、「算数資料集」で説明の仕方や図のかき方が示されたりするなど、習熟度や個に応じた学習を進められるよう配慮されている。
4 表現や体裁等に関すること	・本文にユニバーサルデザイン教科書体を使用し、見分けることが困難な配色を避け、学習に集中しやすいよう配慮されている。 ・B5版 6年生 478g 300P 算数用語の索引数 合計342 1, 5, 6年生のみ合冊 ・目次は巻頭に単元の内容とそれに関連する前学年までの既習事項が示され、学習内容のつながりが分かるよう構成されている。

種 目【算数】

発行者【116 日本文教出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・「180°を超える角度の測定」について、図と言葉をつなげて2つの考えを説明した上で練習問題を解かせ、理解ができるよう配慮されている。 ・4年生「複合図形の求積」では、まず十分に見通しをもたせる時間をとっている。次に3つの考えについて比較検討させ、既習の形に帰着すれば求められることに気付くよう配慮されている。 ・「学びに向かう力・人間性」の涵養については、「なるほど算数」で学んだことを日常生活に活用することで、より興味関心をもたせる工夫がなされている。 ・乗除の演算決定において、3年生でテープ図と数直線を並べて表記し、5年生で2本の数直線へ移行し、系統的に学ぶことができるようによく配慮されている。 ・「Hello Math」「活用」では学んだことを生活で活用して、学んだことを生活とつなげてその理解を深めている。「つなげよう」ではこれまで学習したこと同士をつなげることで、新たな理解が生まれるように仕組まれよく配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・6年生「対称図形」の学習では、全都道府県のマークが示されており、岐阜県のマークもあることで興味を持って学習できるよう配慮されている。 ・デジタルコンテンツの数は、41個ある。内容は、低学年用計算練習「フラッシュカード」や導入でのアニメーション動画(平均)、「分度器の使い方」など操作を伴わず見るコンテンツが主に配置されている。また、各省庁にどのようなデータがあるかを紹介し、リンクして情報収集ができるよう配慮されている。 ・「次の学習のために」というレディネスが全ての単元の前に配置され、つまずきを把握、克服して新単元の学習に取り組められたり、巻末に「〇年生までに学習したこと」として振り返りたりできるような配慮がよくされている。全国学調や各種学力検査の結果をもとに単元末のページは児童が苦手、つまずきやすい問題を重点的に取り上げる配慮がなされている。また、巻末には、「算数マイトライ」という補充問題を配置し、3段階「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」とさらにチャレンジしようとする児童のニーズに応えられるような配慮もされている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・問題解決の過程を「学びの4ステップ」で整理し、学習の手順と具体的な着眼点と共にめあてやまとめが示されている。 ・吹き出しでは、結果や方法の見通しを立てたり、見方・考え方を働かせる際の手がかりになったりする内容が示されている。 ・単元の導入では、既習事項を確認する学び直しのを設け、児童の興味や好奇心に働きかける題材が扱われている。 ・章末では「たしかめポイント」で問題にねらいを入れ評価を視野に入れた構成になっており、「わかっているかな」では子供がつまずきやすい内容を振り返られるよう工夫されている。
4 表現や体裁等に関すること	・本文に教科書体を使用し、見分けやすい色使いにして紙面情報が正しく伝わるように配慮されている。 ・B5版 6年生 重さ470g 286P 算数用語の索引数 合計327 6年生のみ合冊 ・目次は、巻頭に単元名一覧と前学年までの既習事項が示され、これまでの学習とのつながりが示されている。

【種目】理科

【発行者】6者

2 東京書籍

4 大日本図書

11 学校図書

17 教育出版

(26 信州教育出版) 見本なし

61 新興出版社啓林館

種 目【理科】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・知識及び技能の習得では、問題に正対した結論と定義や重要語句がまとめて記載されている。 ・実験器具の扱い方では、方位磁針について、3年生では「じしゃくにつけよう」の単元、4年生では巻末資料に記載されている。安全面について配慮する事項には「きけんマーク」を付け、禁止事項とその理由を赤い文字で強調して記述している。 ・理科の見方・考え方について、巻頭の p4～5で各学年の発達段階に応じた身に付けたい「理科の力」がどの学年も明記されている。学習内容ごとに具体的な表現で明記されている。 ・単元導入時と単元終了時を比較した振り返り場面を設定しており、5・6年生では、「学ぶ前のわたし」と、「学んだ後のわたし」を位置付け、学びの深まりを感じられるような工夫がなされている。 ・他教科との関連は全学年で扱われ、25の内容が取り上げられている。日常生活と社会との関連も各学年で合計 120の内容が取り上げられている。 ・考察は全学年に位置付けられ、合計 77 か所ある。考察の分量は単元によって軽重を付け、必要な単元では重点的に取り上げられるようになっている。5年生の「物の溶け方 (P108)」においては、グラフを見ながら、水の量や温度と、物が解ける量の関係に関連付けて考えられるようになっている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	・5年生の「流れる水のはたらき」では、長良川を取り上げ、上流の郡上市、中流の美濃市、下流の岐阜市を学習する内容になっている。単元の最後には、自分の地域の河川を調べる活動を組み入れている。3年生では、風になびく垂井のこいのぼり、5年生では、災害を防ぐ関市の武儀川のブロックを取り上げている。 ・自然災害との関連は、4年生から扱われており、4年生の「雨水のゆくえ」、5年生の「天気の変化」、6年生の「変わり続ける大地」では、学習した内容と実際の災害をつなげて取り扱っている。 ・プログラミングは、6年生の出口で取り扱い、理科の学習内容との関連付けを図りながら体験できるような教材を紹介している。デジタルコンテンツは、54 掲載されている。 ・巻末にまとめて、二次元コードが掲載されている。 ・4年生の「動物のからだのつくりと運動」では、パラリンピックの義足のランナーを取り上げたり、イラストや写真では、外国人児童、肌の色の違う児童、車いすの児童などを取り上げたり、多様な児童が協力して学ぶことができるようにしている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	・巻頭 (P4～5) で問題解決学習の流れとして「理科の学び方」が明記されている。また、「レベルアップ 理科の力」として学年で付けたい力がどの段階かが示されている。 ・初めての物理分野の学習である3年生「風やゴムで動かそう」の単元では、学び方のポイントが流れに沿って明記されている。(3年生 P48～54) ・巻末に、資料がまとめて掲載してある。 ・単元末に学び方を振り返る視点として「振り返ろう」が明記されており、学び方の評価ができるようになっている。 ・単元末に評価問題となる「たしかめよう」が位置付いている。学年が上がるごとに問題数が豊富になっており、分からないときに参考にするページが記載されている。 ・自由研究の参考になる「わたしの研究」が4ページ分位置付いている。 ・巻末の「何が分かったかな」のコーナーに「学習した理科の言葉」の索引が掲載され、調べられるようになっている。(6年生 P216～217 など) ・4年生以上では、複数の単元をつないでまとめる「学びをつなごう」が位置付いている。
4 表現や体裁等に関する事	・大きさ 297mm×210mm (A版)、重さ 406g (3年生) ～513g (6年生) ・UDフォントの大きめの文字を使用している。また、UDに配慮している。 ・全体的に緑色を基調としており、統一感がある。 ・写真を多用しているが、5、6年生では、図表が多くなっている。A4判のため写真が大きくて見やすい。(6年生 P136) ・インターネットのコンテンツと連携している。

種 目【理科】

発行者【4 大日本図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・まとめでは「結論」として、問題に正対した結論が書かれている。定義や重要語句は、「理科のたまたまばこ」として、まとめとは別に掲載している。 ・実験器具について、方位磁針の使い方は各学年の巻末資料に記載されている。安全面への配慮は、合計 140 か所に「注意マーク」を付け、説明文を赤字で強調している。 ・理科の見方・考え方については、児童キャラクター等の発言で例示している。 ・常に学習問題について主体的に取り組めるように、「問題を見つける」を設定し、課題化に近づけている。3年生の「音のつたわり方」の単元では、糸電話を作り、遊ぶ経験を通して音が聞こえるわけについて考えさせている。(3年生 p.71) ・他教科との関連は、3、4、6年で取り上げられている。日常生活との関連は全学年で取り上げられ、全体で 129 の内容が取り上げられている。 ・考察は、「結果から言えることを話し合おう」として児童キャラクターの言葉として全学年で取り上げられている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・6年生の「土地のつくりと変化」では、火山活動として御嶽山の噴火の様子を取り上げている。 ・自然災害の関係は、4年生から扱われており、5年生「天気の変化」、「流れる水のはたらきと土地の変化」6年生「土地のつくりと変化」では、災害に備えるための工夫を調べる活動を取り入れ、地域のハザードマップについても触れている。 ・プログラミングは、6年生の出口で取り扱い、身近な事例を再現するような体験ができる教材を紹介したり、3～5年生にコンピューターを必要としないアンプラグドのプログラミングを意識した場面を掲載したりしている。 ・巻頭にまとめて、2次元コードが掲載されており、検索しやすい。デジタルコンテンツは、22掲載されている。 ・イラストや写真では、外国人児童や、髪の毛や肌の色の違う児童、車いすの児童なども登場し、多様な仲間とともに学ぶことができるようにしている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・巻頭(P2～3)で問題解決学習の流れとして「理科の学び方」が明記されている。また、学年で大切にしたい過程が「〇年の学習で特に大切なところですよ」として示されている。 ・巻末に、「ノート書き方」「理科教室の使い方」「実験器具の使い方」がまとめて掲載してある。「話し合い方」は、巻頭(P3)に示されている。 ・学び方を振り返るための項目は特に示されていない。 ・単元末に評価問題となる「確かめよう」「学んだことを生かそう」が位置付いている。穴埋め問題でなく、文章記述で答える問題が多い。(例：6年 P26～27) ・自由研究の参考になる「自由研究」が4ページ分位置付いている。 ・学習した「理科の言葉」の索引掲載はない。
4 表現や体裁等に関すること	・大きさ 257mm×210mm (A B版)、重さ 428g (5年生)～463g (6年生) ・UDフォントを使用している。 ・写真やイラスト、図表を多用している。6年生では、図表が多くなっている。 ・領域、学習過程によって色分けをしている。 ・インターネットのコンテンツと連携している。

種 目【理科】

発行者【11 学校図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・知識及び技能の習得では、「わかったこと」として問題に正対した結論をまとめている。定義や重要語句は本文中など、まとめとは別に記載されている。 ・方位磁針の使い方についての説明は、3年生、4年生、5年生の3学年で観察のページに記載されている。安全についての指導は全部で130か所あり、「きけんマーク」を付けて、禁止事項とその理由を強調して記述している。 ・理科の見方・考え方については、「メダカの受精卵はどのように変化し、育っていくのだろうか」のように、(5年P42) 具体的な表現で明示されている。 ・単元導入時と単元終了時に振り返りの場を設定し、「わかったこと」の後には、「もっと調べたいこと、心に残ったことは何か」などの文章を示している。(3年生P38、5年生P34) ・他教科の内容は、3～5年生で取り上げられ、日常生活との関連は全学年合計で82の内容を取り上げている。5年生では「命を支える仕事」として、獣医の仕事を紹介している。(P172) ・問題解決の課程において考察を位置付け、全学年合計で100の内容を取り上げている。文章や児童キャラクターの言葉で表現されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・6年生「地震による大地の変化」で、岐阜県本巣市の根尾谷断層を取り上げている。 ・自然災害との関係は、4年生から扱われており、4年生「雨水の流れ」、5年生「雲と天気の変化」、6年生「火山の噴火と地震」では、学習した内容と実際の災害をつなげて取り扱い、自分の命を守るためにできることについて考えさせている。 ・フローチャートを使うことで、プログラミング的思考を使いながら水溶液を見分ける問題を取り扱ったり、生活場면을再現するようなプログラミング体験ができる教材を紹介したりしている。 ・2次元コードは、該当ページに掲載されている。デジタルコンテンツは、57掲載されている。 ・イラストで、車いす児童を取り上げたり、男女を均等に登場させたり、様々な児童が平等に学びを高め合えるようにしている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・巻頭(P4～5)で問題解決学習の流れとして「〇年の科学の芽を育てよう」が明記されている。また、「〇年で特に意識したいこと」として学年で付けたい力が何か示されている。 ・巻末に、資料として「話し方」「ノート書き方」「理科室の使い方」「実験器具の使い方」がまとめて掲載してある。「リトマス紙の使い方」など、一部は関係単元の中で紹介されている。例(6年生：石灰水の使い方P12、リトマス紙の使い方P158など) ・「わかったこと」の後には、学び方を振り返る視点が位置付いており、学び方の評価ができるようになっている。 ・単元末に評価問題となる「まとめてみよう」が位置付いている。(例：6年生P24) ・自由研究の参考になる「わたしのじゅう研究」が2ページ分位置付いている。 ・巻末に「大事な言葉・調べ方や使い方」の索引が掲載され、調べられるようになっている。 ・4、5年生では、複数の単元をつないでまとめるページが位置付いている。(4年生P174～175、5年生P170)
4 表現や体裁等に関すること	・大きさ257mm×210mm (AB版)、重さ427g(3年生)～537g(6年生) ・UDに配慮している。 ・写真を多用している。 ・4領域に合わせて色分けがされている。 ・インターネットのコンテンツと連携している。

種 目【理科】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導要領改訂の趣旨及び内容に関すること	・ まとめは「けつろん」として、問題に正対した結論が記載されている。「定義や重要語句」は本文中など、まともとは別に記載している。本文中の重要語句は太字で書かれ、黄色の背景で強調している。 ・ 方位磁針の説明は、3、4、6年生の観察のページに記載されている。安全指導は全学年合わせて174か所載せている。「注意」「きけん」マークを付け、説明文を赤字で強調している。 ・ 理科の見方・考え方については、見方を児童キャラクターの発言で例示し、考え方を引き出す支援を先生キャラクターの発言で例示している。単元導入時と単元終了時を比較した振り返りの場面はないが、子どもの疑問や気付きをもとに、活動や話し合いを行い、問題発見につなげる「見つけよう」を掲載している。（3年生 P172、4年生 P209、5年生 P103、6年生 P38） ・ 他教科の学習内容は、全学年で合計14の内容を取り上げている。日常生活と社会との関連は、全学年合計で112の内容を取り上げている。3年生の「じしゃく」の単元では、ビニール袋に磁石を入れ、砂鉄を集める活動を「チャレンジ」として紹介している。 ・ 問題解決の課程において考察を全学年で合計109の内容で取り上げている。「けっかから考えよう」として文章と、児童キャラクターによる考えの例示が掲載されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・ 5年生の「流れる水と土地」では、河川の紹介で全国6カ所の一つとして、長良川を取り上げ、上流の郡上市、下流の岐阜市を取り扱っている。美濃市の川に設置されているブロックも災害を防ぐ工夫として紹介している。6年生「地震と土地の変化」では、岐阜県本巣市の濃尾地震による断層を取り扱っている。 ・ 自然災害との関係は、5年生から取り扱われている。 ・ プログラミングは、6年生の出口で取り扱い、生活との関連付けを図りながら体験できるような教材を紹介している。 ・ 2次元コードは、巻頭に掲載されており、ショート映像が充実している。デジタルコンテンツは、160掲載されている。 ・ 写真やイラストでは、髪の色や肌の色など違う様々な児童が掲載され、国籍の隔たりなく、協力して活動できるようにしている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・ 巻頭（P8）で問題解決学習の流れとして「学習の進め方」が明記されており、学年で付けたい力が何か、吹き出しで示されている。また、巻頭（P7とP9）に発言で使いたい言葉とノートのととり方が掲載してある。 ・ 実験器具の使い方について、一部は巻末に記載されてあるが、それ以外の実験器具の使い方は各単元の中で紹介されている。（6年生：P22、226～227など） ・ 学び方を振り返るための項目は特に示されていない。 ・ 単元末に評価問題となる「確かめ」が位置付いている。学年が上がるごとに文章記述で答える問題が増え、分からないときに参考にするページが記載されている。（例：6年 P26～27） ・ 自由研究の参考になる「わたしの研究」が4ページ分、巻末に「〇〇図鑑」が掲載されている。 ・ 学習した「理科の言葉」の索引掲載はない。
4 表現や体裁等に関すること	・ 大きさ 272mm×210mm（AB版）、重さ 463g（3年生）～537g（4年生） ・ UDフォントを使用している。また、UDに配慮している。 ・ 発達の段階に応じて文字の大きさを変えている。 ・ 全体的にピンク色を基調としている。 ・ 写真やイラスト、図表を多用しており、比較的写真の方が多い。 ・ インターネットのコンテンツと連携している。

種 目【理科】

発行者【61 新興出版社啓林館】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・単元の終末では「まとめ」として、問題に正対した結論が記載されている。定義や重要語句は、まとめとは別に本文や図に記載されている。 ・方位磁針の使い方については、観察のページで3年生、巻末資料として3、4、5年生で掲載されている。安全指導については、全学年で合計 181 の内容が紹介されている。「注意」マークと注意文を赤字で強調し、視覚的にわかる共通マークを使用している。 ・理科の見方・考え方については、問いかけや児童の発言で例示している。単元終了時の振り返りは、「まとめノート」として手書きの文章やイラストで紹介されている。分かったことから新しい問題を見出し、深い学びへ向かう力を育むように、「もっと知りたい」を掲載している。（3年生 P106、4年生 P142、5年生 P140、6年生 P12） ・他教科との関連は全学年で取り上げられ、全体で 17 の内容を紹介している。日常生活との関連については、全体で 116 の内容について取り上げている。 ・問題解決の課程における考察は、全体で 63 の内容について取り上げている。写真や図の中の文章やキャラクターの言葉が、結果からまとめを引き出す例示をしている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	・5年生の雪の多い地域として、岐阜県白川村の白川郷が、6年生の火山活動では、御嶽山の噴火の様子が取り上げられている。 ・自然災害との関係は、4年生から扱われており、5年生の「雲と天気の変化」、「流れる水のはたらき」6年生「大地のつくりと変化」では、災害を防ぐ取り組みを紹介し、防災マップ作りにつなげている。 ・プログラミングは、電気を無駄なく使うことを目的としたプログラムを体験する活動を設定している。 ・巻末と該当ページに2次元コードが掲載され、他単元や関連記事とのリンクができる。デジタルコンテンツは、192 掲載されている。 ・写真やイラストでは、4年生「動物のからだのつくりと運動」において、パラリンピックの陸上選手を取り上げたり、車いす児童が登場したりするなど、特別支援や人権への配慮がよくされている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	・巻頭（P 6～7）で問題解決学習の流れとして「自然の不思議をとき明かそう！」が明記されている。また、吹き出しで、学年で付けたい力は何が示されている。 ・巻末に、資料として「ノートのまとめ方」、「話し合い方」、「実験器具の使い方」がまとめて掲載してある。「理科室の使い方」は、巻末でなく P88～89 に掲載されている。 ・学び方を振り返るための項目は特に示されていない。 ・単元末に評価問題となる「たしかめよう」、「活用しよう」が位置付いている。学年が上がるごとに問題数が豊富になっている。（例：6年生 P20～21） ・自由研究の参考になる「自由研究」が2ページ分位置付いている。 ・巻末に大切な言葉の索引が掲載され、調べられるようになっている。 ・6年生では、複数の単元をつないでまとめる「学習をつなげよう」が位置付いている。（6年生 P82～83）
4 表現や体裁等に関する事	・大きさ 257mm×210mm（AB 版）、重さ 395g（3年生）～489g（6年生） ・UDフォントを使用している。また、UDに配慮している。 ・3、4年生と5、6年生で本文のフォントサイズを変えている。 ・写真やイラスト、図表を多用している。 ・全体的に青色を基調としており、統一感がある。 ・インターネットのコンテンツと連携している。

【種目】 生活

【発行者】 8 者

2 東京書籍

4 大日本図書

11 学校図書

17 教育出版

(26 信州教育出版) 見本なし

38 光村図書出版

61 新興出版社啓林館

116 日本文教出版

種 目【生活】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・安全面、衛生面での配慮が必要な活動や対象には、もれなく「てあらい・うがいマーク」が付いている。また、安全に学習したり生活したりするために必要な習慣や技能が、紙面右端に「やくそく」として掲載され注意点が明確である。 ・身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉えられるよう、活動ごとにキャラクターが視点を提示したり、絵や吹き出しに例示したりしていて、大変よく工夫されている。 ・自分の学習や生活を振り返り、仲間とのかかわりの中で必要な習慣や技能の習得を確かなものにするために「できるようになったことをふりかえろう」が設けられており、よく工夫されている。 ・多様な人々との触れ合いに関心がもてるよう、幼児や高齢者、障がいのある児童、外国の人などが写真や挿絵で随所多様に掲載されている。 ・理科「自然や物を使った遊び」の内容が 32 ページ、社会「公共物や公共施設の利用」の内容が 38 ページとバランスよく充実している。 ・「町探検の単元末における伝え合う活動の工夫」では、板書、吹き出し、写真・絵、新聞・ポスターなどのまとめ方が提案されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	・第1学年では、季節ごとに地域の公園で活動する学習内容が仕組まれていて、地域の四季の変化の面白さに目を向けることができ、地域に対する愛着をもつことができる。 ・第2学年「どきどきわくわくまちたんけん」「みんなでつかうまちのしせつ」「もっとなかよしまちたんけん」「つながる広がるわたしの生活」の4単元の学習を通して、「地域」と繰り返し関わることができ、地域への愛着を十分深めることができる構成・配列である。 ・教師が資料を提示する手段、児童が活動を振り返ったり、表現活動をしたりする道具として、ICT 機器を活用する例がイラストで掲載されている。 ・家庭で保護者と学ぶコンテンツとして、ICT の活用例がわかりやすく示してある。 ・安全指導の充実を図るために、保護者と連携した活動内容が掲載されている。 ・自分の成長を振り返る学習では、児童の家庭環境を配慮して、活動内容を選択することができるようになっている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	・活動内容を表した小単元名と活動のめあてが分かりやすく示され、実際の授業がイメージしやすい構成になっており、生活科の指導経験が少ない教員でも、質の高い授業づくりが可能なように工夫されている。 ・学びを深めるための発問例、掲示物や板書の例も随時挿絵で示されており分かりやすい。 ・挿絵の児童の姿や吹き出しのセリフ、表現作品例などで評価基準も示唆されており評価の参考にすることができる。 ・巻末資料も充実しており、原寸大の図鑑など見やすく、児童が実際に利用しやすいものとなっている。児童が進んで活用し、自学・自習に生かしていくことが期待できる。
4 表現や体裁等に関する事	・A4判 上132P 重さ 380g 下130P 重さ 335g ・上巻の巻末に取り外し可能な「ポケット図鑑」を掲載している。 ・生活科の学習で身に付ける習慣や技能をまとめた「かつどうべんりちょう」を掲載している。 ・小単元名、手洗いマーク、約束などを同じ位置に配置し、学習の流れを示したホワイトボードを挿絵で示している。

種 目【生活】

発行者【4 大日本図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・安全面、健康面での配慮が必要な対象には、キャラクターが吹き出しで呼びかけて注意喚起している。 ・学習や生活において、活動の成果を互いに認め合ったり、過去の自分と比較して成長に気付いたりすることができるよう、よく工夫されている。 ・巻末の資料「がくしゅうどうぐばこ」では、交通安全、自然災害、防犯について取り上げ、自分の身を守るための習慣や技能が身につくように配慮されている。 ・身近な人々、社会及び自然を学習の対象とし、生活科の見方や考え方を生かした学びを展開できるようになっている。 ・幼稚園・保育所での経験を振り返りから生活科の活動が始まるような導入を工夫されている。また、幼児期に身に付けた資質・能力を生かし伸ばしていく活動の流れとなっている。 ・理科「自然や物を使った遊び」の内容が 37 ページ、社会「公共物や公共施設の利用」の内容が 36 ページとバランスよく充実している。 ・「町探検の単元末における伝え合う活動の工夫」では、吹き出し、写真・絵、新聞・ポスター、手紙・招待状、クイズなど豊富なまとめ方が提案されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・季節に沿った大単元構成にすることで、四季の変化に目を向けて、地域の自然と関わる場を位置付けることができる。 ・第2学年では、春と秋の2回にわたって、町を探検する学習活動が位置付けられている。 ・活動の記録を残したり、児童の表現活動を効果的に行ったりする上で、ICT 機器の使用が有効であると考えられる場面の例示が多く示されていて、児童の情報活用能力を十分育むことができるようになっている。 ・おもちゃづくりの単元では、イラストだけではわかりにくいことが、動画によって詳細に解説され、児童が具体的なイメージをもって活動に取り組みやすくなる。 ・様々な家庭環境や家族構成を考慮し、多様な家族の形を示す配慮が十分されている。 ・自分の成長を振り返る場面では、複数のインタビュー先を示すことで、児童や家庭の実態に配慮がされている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・親しみやすい絵柄の見やすい挿絵で、様々な活動場面での児童の動き、表情やつぶやきが多数掲載されている。生活科の指導の経験が浅い教員でも、それを手がかりにして児童の意識の流れや気付かせたいことがイメージしやすく、実際の授業づくりの参考になる。 ・各活動単位で、学習カード・作品等、児童の表現物を多数例示し、評価の参考となるように配慮されている。 ・行った活動に関連して、児童の気付きがより広がっていくような情報がページの右端コラムに随時掲載されている。「せいかつことば」や発展的な活動へのヒント等、内容も豊富で児童が各自の興味・関心のあることについて、自学・自習に活用していけることが期待できる。
4 表現や体裁等に関すること	・AB判 上140P 重さ 300g 下142P 重さ 308g ・UD フォントを使用している。 ・色覚の特性によらず、情報が読み取れるように配色に配慮してある。 ・文章の分ち書きや、読みやすい位置で改行してある。 ・巻末の資料「がくしゅうのどうぐばこ」に情報収集の方法や伝達の手段、習慣や道具の使い方を掲載している。

種 目【生活】
発行者【11 学校図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・健康や衛生面については、「手洗い・うがいマーク」や「注意マーク」で注意を促している。 ・安全や防災についてイラストや写真、マークで示されている。 ・子どもたちが自ら気づき、その質を高め深めていけるように活動写真や無理のないキャラクター同士の会話で構成されており、状況に応じた補助的な指示文が示されている。 ・4人のキャラクターのつぶやきやカードの中で児童が自然に見方や考え方を生かしていけるように設定されている。 ・理科「自然や物を使った遊び」の内容が30ページ、社会「公共物や公共施設の利用」の内容が28ページとバランスよく充実している。・遊び単元を中心に、幼稚園児、異学年の子どもと関わる活動が設定されている。 ・「町探検の単元末における伝え合う活動の工夫」では、吹き出し、写真・絵、新聞・ポスター、手紙・招待状などのまとめ方が提案されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・第2学年「まちたんけん」「あの人に会いたい」では、まちの様子や生活する人々の存在を知り、それらについて、まとめ発表していく中で、まちに対する愛着を図ることができるようになっている。 ・各地の地域行事を例示することで、自分の地域に目を向け、自分の地域に生かした活動に結びつくように配慮されている。 ・情報を収集したり、情報を発信したりする手段が例示され、情報教育の素地を養うことができるようになっている。 ・「ものしりノート」のQRコードを読み込むと、児童が活動する際の手助けとなる動画を見ることができる。 ・教科書の登場人物は、男女比の偏りがないよう配慮されている。 ・男性が家事を担当している場面などの写真が掲載され、家族構成や家庭環境に配慮している。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・活動する際の投げかけや、児童への支援のヒントになるような言葉、教員の立ち位置等が挿絵から掴めるようになっている。また学びを深めるための掲示物、板書例が挿絵で分かりやすく示されている。生活科の指導の経験が浅い教員でも実際の活動、必要な支援がイメージしやすい。 ・巻末の「まなびかたずかん」だけでなく本文中の「ものしりノート」も充実しており、必要な時に何ページを参考にすればよいのか、児童にも分かりやすいマークを使い掲載されている。それを手がかりにして、児童が自学・自習に役立てられそうである。
4 表現や体裁等に関すること	・A4判 上134P 重さ 355g 下122P 重さ 325g ・色覚の特性によらず、情報が読み取れるように配色に配慮してある。 ・本文中に「ものしりのうと」として活動の補助となるページを掲載している。 ・上下巻末に学び方や安全面に関わる「まなびかたずかん」を掲載している。 ・学習の流れを例示している。 ・漢字とカタカナの使用については上巻の2学期以降（夏休み明け）に配当漢字・カタカナを使用し、漢字にはすべてルビをつけてある。

種 目【生活】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・健康面・安全面・衛生面については紙面の「やくそく」コーナーやマークで掲載されている。・特に重点を置いて発揮すると効果的な「力」がサイコロで示され、各小単元（各活動）に設置されており、生活科で育成する資質・能力がわかりやすく適切に示されている。 ・活動への意欲や自信をはかるバロメーター「まんぞくハシゴ」が繰り返し設定されており、進んで学んだり生活したりしたいという意欲やできるという自信を育む構成がされている。 ・理科「自然や物を使った遊び」の内容が 38 ページ、社会「公共物や公共施設の利用」の内容が 27 ページとなっているが、地図の活用が 6 ページと充実している。 ・幼児期における遊びを通した総合的な学びから、各教科への学習活動に円滑に移行できるよう、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、「スタートカリキュラム」が具体的にイメージできる構成になっている。 ・「町探検の単元末における伝え合う活動の工夫」では、写真・絵、新聞・ポスターなどのまとめ方が提案されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・第2学年では、「まちが大すきたんけんたい」「えがおのひみつたんけんたい」の2部構成で設定され、身近な地域やその地域で生活している人、働いている人と繰り返し関わることができる。 ・地域の慣習や行事にかかわる資料が豊富に掲載されていて、身近な地域に目を向けやすくなっている。 ・QR コードによって、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 ・タブレットを活用して画像を拡大して見るなど、ICT 機器を使用した活動例が示されている。 ・目次ページに、生活科の学習で育てたい資質や能力について、保護者に向けたメッセージが掲載されている。 ・家庭と連携して学習を進めることができるように、各単元の終末に、学習したことを家の人に伝えるコラムが設定されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・生活科の教科目標から、育みたい6つの力「きづく」「じぶんでできる」「かながえる」「つたえる」「ちょうせんする」「じしんをもつ」を抽出し、随時ページ上部に示してある。付けたい力が分かりやすいので、生活科の指導経験が少ない教員も活動のポイントを掴みやすい。 ・キャラクターや写真で登場する児童たちの表情やせりふ等が変化に富んで楽しく、児童にとって大変魅力的である。児童が興味をもち自分から教科書を読みたくなるような工夫がある。振り返りのページに掲載されている自信・意欲のバロメーター「まんぞくはしご」で楽しく自己評価ができたり、巻末資料「学びのポケット」の参考ページが見やすく示されたり、「ひんと」コラムがあったり、さらに広く深くやってみたいという児童の意欲を引き出す工夫がなされているおり、自学・自習に役立ちそうである。
4 表現や体裁等に関すること	・AB判 上138P 重さ 296g 下138P 重さ 293g ・UD フォントを使用している。 ・色覚の特性によらず、情報が読み取れるように配色に配慮してある。 ・学び方のヒントや各教科の知識・技能を使って学習できるように上下巻末に「学びのポケット」を掲載している。 ・体験活動・表現活動・資料の3つの要素で構成され、思考を可視化した番所を示している。 ・上巻では2学期後期より、第1学年配当漢字（ルビ付）とカタカナ、下巻では第2学年配当漢字（ルビ付）で表記されている。

種 目【生活】

発行者【38 光村図書出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・安全・衛生への配慮について、注意喚起のマークを付けたり、巻末資料に注意を示したりしている。また、連動コンテンツにも安全に関する動画を収録している。 ・身近な幼児や高齢者・障がい者との交流などを重視し、多様な人々との関わりのきっかけとなるように必然性をもってイラストや写真で示してある。 ・他教科との合科的・関連的な指導のヒントを随所に示してある。 ・幼保小の円滑な連携に配慮し、児童の思考や活動の流れに沿った具体例を示している。 ・理科「自然や物を使った遊び」の内容が、40 ページと充実している。 ・全単元に設けてある「どうすれば」コーナーは活動のヒントや気付かせたいポイントを示しており、児童が自ら考えることができるような工夫がされている。 ・各単元に振り返り用の「ジャンプ」のページを設け、具体的な活動を通して、自分なりに深まりを実感させるよう工夫されている。 ・「町探検の単元末における伝え合う活動の工夫」では、吹き出し、写真・絵、新聞・ポスター、手紙・招待状、クイズ、パンフレットなどのまとめ方が提案されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・町探検の単元が、春と秋2回位置付けられていて、3年生の社会科へのつながりが意識されている。 ・ICT を活用して、交通安全や道具の使い方に関する資料を動画で提示することができる。 ・発達段階を配慮し、実物投影機やデジタルカメラの使用例をイラストで示している。 ・家庭と連携して進めていく学習では、家庭環境を配慮したイラストで示されている。 ・通学路の安全についてなど、生活科で学習したことを日常生活に生かすことができるように、イラストや文章で説明している。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・ホップ(計画)・ステップ(活動)・ジャンプ(振り返り)の3つで学び方がよく分かる構成になっており、経験の少ない教員にも単元のねらいや活動のポイントがつかみやすく、実際の授業づくりのイメージが沸きやすいと思われる。 ・単元開きの際の声かけの具体例、記録カードの例、児童に考えさせたいポイントも明記されており実際の授業づくりに役立てることができる。 ・また、児童の自主的な学びを広げるための資料「きせつのおくりもの」では、生き物がどこにいるのか、思わずさがしたくなるような工夫のあるダイナミックな四季の資料が掲載されており、児童が身近な季節の移り変わりに気付いたり、そこから自分の生活につなげたりすることができるように配慮されている。
4 表現や体裁等に関すること	・AB判 上149P 重さ 326g 下109P 重さ 249g ・UD フォントを使用している。 ・色覚の特性によらず、情報が読み取れるように配色に配慮してある。 ・児童自ら適切な学習方法を見つけられるように、巻末に「ひろがるせいかつじてん」を掲載している。 ・低学年児童の発達段階を考慮した平易な表記・表現を使用している。

種 目【生活】

発行者【61 新興出版社啓林館】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・安全や衛生面に関わる内容については、「てあらいマーク」を使用したり、キャラクターが吹き出しで意識付けをしたりして見やすい。 ・災害は、自然災害、交通災害、人的災害の3つの視点のもとに、適切な行動や基本的な知識が身につくような資料が充実している。 ・上下巻ともに、写真やイラストに外国人の児童が設置され、こだわりなく関わることができ、誰もが住みやすい社会を目指そうとする意識が自然にもてるよう工夫されている。 ・単元末「ぐんぐん」紙面の「できるかな できたかな？」コーナーでは、学習過程や成果をふり返り、自らの成長や学びの深まりを実感できるように工夫されている。 ・幼児期における遊びを通した総合的な学びから、各教科への学習活動に円滑に移行できるよう、歌や遊びを取り入れた活動や合科的・関連的な学習活動が多く例示してある。 ・理科「自然や物を使った遊び」の内容が30ページ、社会「公共物や公共施設の利用」の内容が28ページとバランスよく充実している。 ・「町探検の単元末における伝え合う活動の工夫」では、板書、吹き出し、写真・絵、新聞・ポスター、手紙・招待状、クイズなど豊富なまとめ方が豊富に提案されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・岐阜県大野郡の合掌づくりが掲載されていることで、身近な地域に対する関心をもつことにつながりやすい。 ・第2学年の「とび出せ！町のたんけんたい」「もっと知りたいたんけんたい」では、地域にあるもの、地域の人と繰り返しかわり、かわる中で生まれた児童の地域に対する思いを「町のすてきつたえたい」の単元でまとめとして位置付ける配列になっている。 ・スタートカリキュラムのQRコードを読み込むと、歌の音源があり、活用しやすい。 ・QRコンテンツを活用し、「Web ずかん」を見ることができ、観察のポイントが示されている。 ・児童の多様な家庭環境によく配慮しながら、家族の一員としての自分の役割を考えることができるようになっている。 ・自分の成長を振り返る単元では、幼稚園の先生にインタビューをする様子を写真で示すなど、児童の家庭環境に配慮して活動を進めることができるようになっている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・児童の経験から活動を引き出したり、児童の思考を深めたりするための教員の働きかけや具体的な言葉かけの例が挿絵や吹き出しで示されている。単元末「ぐんぐん」紙面の「できるかな できたかな？」コーナーは、教員にとってその単元で育てたい児童の姿がわかり評価の手がかりになるよう工夫されている。児童の気付きを共有化・可視化するための板書例、ICT活用の学習活動例も示してあり指導者の参考になる。例示された板書も整理されており見やすい。このように生活科を指導した経験の浅い教員の日々の授業のヒントになる部分が多い。 ・巻末の「がくしゅうずかん」のどのページを見るといいのか本文中に示してあり、児童の自主的な学びをサポートしている。
4 表現や体裁等に関すること	・AB判 上152P 重さ 338g 下138P 重さ 291g ・UDフォントを使用している。 ・上下巻末の「がくしゅうずかん」に、学び方や道具の使い方を掲載している。 ・小単元、各種コーナーやめくり言葉などが定位置に配置してある。 ・上巻の2学期以降(夏休み明け)はカタカナと配当漢字を使用し、すべてふりがな付きになっている。

種 目【生活】

発行者【116 日本文教出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・防災、減災に加え、夏場の水分補給や、動植物アレルギー、食物アレルギーへの配慮など「日常安全」という観点での配慮がされている。 ・児童が身近な人々や社会、自然などの関わりから個性的・個別的に気付いていくことができるような学習活動の例示が、挿絵や写真、吹き出し、表現作品に示されている。 ・新しい環境への適応を第一に考え、幼児教育の成果を踏まえながら友達と交流し、安心して学校生活をスタートできるような構成になっている。 ・理科「自然や物を使った遊び」の内容が 64 ページと充実している。 ・導入、学習展開とあわせて、学びのまどや学習カードに例示された内容を踏まえていくことで無理なく主体的・対話的で深い学びにつながるような構成になっている。 ・「町探検の単元末における伝え合う活動の工夫」では、板書、吹き出し、写真・絵、新聞・ポスター、手紙・招待状、クイズなど豊富なまとめ方が提案されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・町探検の単元では、「町たんけん1」「町たんけん2」の二部構成になっていて、段階的に3年生での社会科へつなげる構成となっている。 ・実物投影機や電子黒板の活用事例が、発達段階に合わせて示されている。 ・学んだことを伝え合う手段として、タブレットやパソコンなどの ICT 機器を活用して発表する様子が示されている。 ・「アレルギーに気をつけよう」の注意書きは、児童自身が気を付けて活動に取り組む意識を育てることにつながると同時に、未然に事故を防ぐことで、児童の安全を確保することになる。 ・多様な家庭の状況に対応できるように、家族の構成、男女の役割などの十分配慮した内容を掲載している。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・育成すべき資質・能力に基づいた「学習のめあて」がわかりやすい言葉で説明されている。「見開きページの左下」を教員が事前にチェックしておくことでその時間に身に付けさせたい資質や能力に即したねらいを明確に把握することができ、生活科の指導の経験が浅い教員でも実際の授業のイメージが掴みやすい。 ・本文中の「ポケットずかん」では、季節を楽しむ遊びの例が数多く紹介され、「もっとやってみたい」という児童の意欲を引き出すことに有効であろうと思われる。 ・挿絵や写真の児童の表情も楽しそうで、児童が興味をもって教科書を読み進めていけるような工夫がある。
4 表現や体裁等に関すること	・AB判 上144P 重さ 280g 下136P 重さ 266g ・「盛り上がり印刷」：下巻 P135 で凸部分をつくるなど、児童が点字を直接体験できるページを用意し、障がい者への関心を高める工夫がされている。 ・上下巻末に、学び方や身に付ける技能や習慣を示した「ちえとわざのたからばこ」を掲載している。 ・各単元の活動に応じて活用する「ポケット図鑑」を掲載している。

【種目】 音 樂

【発行者】 2 者

17 教育出版

27 教育芸術社

種 目【音楽】
 発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学 習 指 導 要 領 改 訂 の 趣 旨 及 び 内 容 に 関 する こ と	・歌唱や器楽演奏の活動を通して、音符や休符、記号や用語などを理解する学習や演奏方法を理解する学習が設定されている。 ・曲の特徴を感じ取ることができるようなワークシートが位置付けられている。また、鑑賞領域では他者と関わりながら身体表現をして、曲の構成を感じ取ることができる活動を提示している。 ・中・高学年では「学び合う音楽」が示され、仲間と音楽活動の楽しさを体験できる内容になっている。また、「音楽にできること」として、震災の被災地を応援する様々な音楽活動に関わる内容が示されている。 ・音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」として示し、領域をしぼり題材のねらいを達成する教材配列になっている。 ・「音楽のもと」をどう関連付けばよいかなどについて、学び方が示唆してあり、中学年以上ではメモ欄を設けるなど、学びの足跡を残せるよう配慮されている。 ・音楽に合わせてコミュニケーションを図れる教材を位置付け、身体表現をすることを通して児童の対話的な学びが深まるよう配慮されている。
2 岐 阜 県 教 育 振 興 基 本 計 画 (第 3 次 岐 阜 県 教 育 ビ ジ ョ ン) の 基 本 方 針 に 関 する こ と	・お囃子づくりや太鼓のリズムづくりなど、体験学習が位置付いている。 ・日本各地の民謡や日本のお祭りなど写真が多数掲載されており、岐阜県については、「音楽の旅」にて「郡上八幡の盆踊り」の写真が掲載されている。 ・WEBコンテンツが用意されている教材に「まなびリンク」マークが設定されており、ICT機器で閲覧することができる。教材に関わる映像や自然界の音、楽器の模範演奏、とんびの鳴き声、鑑賞教材の楽譜と演奏など、イメージを広げたり、技能を習得したりするのに役立つ内容になっている。 ・知識を身に付けるための繰り返しの学びが可能である透明シートが、3年生と5年生において使用されている。また、音符や記号に関わる知識やリコーダーの技能の習得に関わる内容が、補足的な学びとして巻末の見開きページでワイドに示され、[共通事項]に関わる補助的なまとめが児童に分かりやすいイラストを添えて記載されている。
3 東 濃 地 区 の 教 員 及 び 児 童 の 実 態 を 踏 ま え た 教 育 の 充 実 に 関 する こ と	・学習目標や活動内容、学び方、「音楽のもと」が記されていることで、学習の見通しをもつことができる。また、方位磁石のマークで示された「学びナビ」では評価の視点が示されている。 ・どの題材においても、学習の活動内容の流れが細かく記載され、児童が自ら読み進めて自学・自習することが可能である。 ・学習を振り返りながら自分で学習を進めていけるように、「前の学習を思い出そう」というテーマで関連性のある学習ページを「カエルのマーク」で示してあり、既習と新しい学びがつながるよう工夫してある。 ・「もっとあそぼう」というテーマで発展的な学びを紹介するコーナーが設けてある。
4 表 現 や 体 裁 等 に 関 する こと	・中学年以上は判型を大きくし、ビジュアルアップと視覚負担軽減を図っている。また、折込を使ったワイドな写真が掲載されている。 ・目次は、題材ごとに通し番号が振られ、「音楽の見方・考え方を働かせながら、資質・能力を育む題材」「生活や社会と音楽との関わりを扱う題材」「主体的・協働的に表現を楽しむ題材」の3つに色分けされている。 ・また、音楽を表すいろいろな言葉、言葉を記入するメモ欄があり、学習したことが確認できるように構成されている。

種 目【音楽】

発行者【27 教育芸術社】

調査項目	意 見
1 学 習 指 導 要 領 改 訂 の 趣 旨 及 び 内 容 に 関 す る こ と	・歌唱や器楽演奏の活動を通して、生活体験と結びついた学習や、演奏技能のこつを実感を通して理解する学習が設定されている。 ・表現に対する思いや意図をもったり、曲の特徴を感じ取ったりできるようなワークシートが位置付けられている。また、鑑賞領域では、主な旋律の図形を指でたどりながら音楽の特徴を味わって聴くことができるような内容になっている。 ・全学年にわたって児童自らが考えを深めることができる問いがキャラクターの吹き出しとして記されている。また、家族や地域の人へのインタビューや、音楽が人と人をつなぐことに気付かせる様々な音楽活動が紹介されている。 ・音楽を形づくっている要素を主題とし、器楽、歌唱、鑑賞の各領域において一つの主題を貫く題材構成になっている。 ・児童が感じた音楽のよさを関連付けながら児童の思考の流れに沿って学びを進めていけるよう教材配列が配慮されている。 ・音によるコミュニケーションを図れる教材やコラムを位置付け、音や音楽を通して児童の対話的な学びが深まるよう配慮されている。
2 岐 阜 県 教 育 振 興 基 本 計 画 (第 3 次 岐 阜 県 教 育 ビ ジ ョ ン) の 基 本 方 針 に 関 す る こ と	・お囃子の太鼓のパートを口唱歌で歌ったり、声の出し方をまねしながら民謡を歌ったりするなどの体験型の鑑賞学習や、日本の音階を使って旋律を作るなど、日本の音階を感じながら系統的に創作活動ができるように工夫されている。 ・岐阜県については、「地域に伝わる音楽に親しもう」にて、「高山祭の屋台行事」の写真が掲載されており、より身近な伝統音楽に興味関心がもてるように調べ学習の方法が示されている。 ・紙面上の二次元コードを読み取ることによって、学習をサポートするコンテンツ（曲の解説、楽器模範演奏、音階演奏など）をＩＣＴ機器で閲覧することができる。 ・音楽の力を育てるために繰り返して行うとよい活動を「そだてよう」コーナーとして位置付け、知識・技能を身に付けるための学びが可能である。また、音符や記号に関わる知識やリコーダーの技能の習得に関わる補足的な内容が巻末に示され、〔共通事項〕に関わる補助的なまとめが、既習を想起しやすいページのイラストを添えて各学年の内容に沿って記載されている。
3 東 濃 地 区 の 教 員 及 び 児 童 の 実 態 を 踏 ま え た 教 育 の 充 実 に 関 す る こ と	・学習目標や活動内容、学び方が分かりやすく明記されている。また、それらが学習の見通しとなり、評価とつながっている。 ・どの題材においても、学習の活動内容の留意点が登場人物の吹き出しを使い、児童の目線に立った言葉と分かりやすい内容で示され、児童が自ら読み進めて自学・自習することが可能である。 ・学習を振り返りながら自分で学習を進めていけるように、「おもいだそう」というテーマで関連性のある学習ページを「本のマーク」で示してあり、既習と新しい学びがつながるよう工夫してある。 ・中学年以上の学年には、「ステップアップ」「チャレンジ」など発展的な学びを紹介するコーナーが設けてある。
4 表 現 や 体 裁 等 に 関 す る こ と	・音符や歌詞のフォントが大きく、見やすい楽譜が掲載されている。また、吹き出しや解説は無地を基調とし、読みやすさを確保している。 ・目次は、題材ごとに色分けされ、通し番号が振られている。各ページには、ツメによって題材のまとまりが分かりやすく示されており、見通しをもって学習できるよう工夫されている。 ・年間を通しての学習の見通しをもてるよう、巻頭にその概要を「学びの地図」で示し、巻末には「ふり返りのページ」があり、学習したことが確認できるように構成されている。

【 種 目 】 図画工作

【発行者】 2 者

9 開隆堂出版

116 日本文教出版

種 目【図画工作】

発行者【9 開隆堂出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・資質、能力の三つの柱である「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学習に向かう力・人間性等」の涵養が成されるよう全題材で学習のめあてを設定し、「造形遊び」「絵」「立体」「工作」「鑑賞」の5つの分野が目次にアイコンとして表示されている。また、学習のめあての中のひとつを主に大切なめあてとして重点的に育てたい資質・能力を示し、題材の末尾に振り返りが位置付けられている。 ・題材ごとに設定された学習のめあてがわかりやすく、他教科と関連させて学習できるように、題材の末尾に関連教科を示し、発展性に配慮している。 ・活動中の写真や作品・図が大きく掲載され、自ら考えたり感じたりして学習を深められるようにキャラクターが学習のヒントを投げかけるなど、吹き出しや作品のコメント等において、児童が興味、関心を高くもちながら取り組めるように工夫がされている。また、共同製作を通して地域や社会に働きかけるなど、図画工作で培われた力が社会に関わることが示されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・日本各地の風土や文化に根差した伝統の技について、作家や職人から直接作品づくりを学ぶ様子が写真で示されている。また、自分が住む地域の伝統の技への気付きを促す問いかけも見られる。粘土の題材は全学年に配置され、写真やイラストを用いて具体的な手順の紹介をする頁もあり、地域素材への愛着をはぐくむための工夫がよく図られている。 ・全学年を通して、題材、用具、技法、動画や参考作品の視聴が可能な二次元コードが掲載されている。また、ICT 機器の使い方や表現の可能性・安全に使用するための約束が示されており、ICT を活用した学習活動の充実のための工夫が十分図られている。 ・全学年を通して、ページナンバー横に、図画工作の専門用語が英語とともに示されている。また、色、形、材料、表し方を自己決定する大切さ、願いの実現に向けて試行錯誤する楽しさを実感することができるような題材が扱われており、個々の児童の教育的ニーズに応じた多様な学びの支援に資する工夫が図られている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・安全指導の充実として、巻末ページでは、道具の基本的な使い方を掲載し、題材ページには、配慮すべき内容を発達段階に応じて、「あんぜん」、「安全」の囲みを設け、写真とともに安全についての注意事項を説明している。 ・児童の発想力を伸ばすために、「学びの資料」として発想の広げ方を紹介したページを設けている。また、完成作品だけでなく、児童が発想や試行錯誤をしている場面の写真が掲載され、児童が興味をもてる工夫がなされている。 ・日本各地の伝統文化や造形作品が取り上げられ、郷土の歴史に由来する造形活動も掲載されている。東濃の地域題材である焼き物についても、粘土題材のページに、表現の素材として各学年で紹介されている。
4 表現や体裁等に関すること	・A4版 (210×297mm) 総ページ数 56 ページ 重量 214 g ・学年に応じてフォントの大きさを変えたり、カラーユニバーサルデザインの考えから配色などの配慮がなされたりしている。また、作品が目立つよう、作品名の色のコントラストが抑えられている。1 頁または2 頁で1 題材を構成している。 ・巻末に「造形の引き出し」として、各学年の題材に関わる道具の使い方や素材を6 頁にわたって図示し、繰り返し指導できるように図られている。(5・6 年下のみ8 頁)

種 目【図画工作】

発行者【116 日本文教出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・資質、能力の三つの柱である「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学習に向かう力・人間性等」の涵養が成されるよう全題材で学習のめあてを設定し「造形遊びをする活動」「絵に表す活動」「立体に表す活動」「工作に表す活動」「鑑賞する活動」の5つの分野を目次にアイコンとして表示し、どの題材もバランスよく配置されていることがひと目で分かる。また、育てたい資質、能力を学習のめあてで示し、題材の末尾には活動を通して児童に感じたり考えたりさせたいことを例示し、学びに向かう力や人間性等の涵養を目指している。 ・一つの題材の中に多様なテーマ設定や素材・表現方法が紹介され、児童や地域の実態に応じて創造性や感性を育めることを目指している。 ・活動中の写真や作品・図が豊富に掲載されているだけでなく、児童やキャラクターの言葉を通して、児童が造形的な見方や考え方を働かせて主体的・対話的な学習を実現できるよう工夫がされている。また、鑑賞や共同製作など、他者と相互に関連し、よさを認め合ったり学び合ったりする題材が豊富に掲載されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	・全学年を通して、東濃地区で伝統的に実践されている粘土と木版画の題材が大変充実している。巻末の「使ってみよう 材料と用具」では、木版画や粘土作品の製作手順、用具の扱い方や表現効果を、図やイラストを交えて分かりやすく示している。特に粘土題材においては、粘土の具体的な成型方法のほか、乾燥、素焼き、施釉、本焼きの過程が示されており、地域素材への愛着を育むための工夫が十分図られている。 ・全学年を通して、ホームページ上の参考情報を閲覧することができるページにデジタルマークのアイコンが記されている。また、インターネットを活用した情報のやり取りのメリットや注意点が示されており、ICTを活用した学習活動の充実のための工夫が図られている。 ・全学年を通して、願いを実現させる楽しさや仲間と学び合うよさが実感できるような吹き出しが添えられている。また、収集する材料や表し方を自己決定する楽しさが味わえる題材が豊富で、個々の児童の教育的ニーズに応じた多様な学びの支援に資する工夫が図られている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	・木版画の指導においては、彫刻刀の種類や彫り方の違いを感じ取り、児童が主体的に選択できる資料がある。また、巻末ページでは、製作環境の準備や製作の進め方が具体的に示されており、教師の経験年数にかかわらず指導できるよう図られている。 ・「ひらめきポケット」のページでは、児童が試しながら発想を広げるためのヒントが掲載されている。また、基底材の形・材料・大きさなどが多様な参考作品が紹介され、児童が興味をもって発想が広げられるよう、工夫がなされている。 ・東濃の地域題材で長年取り組まれてきた焼き物について、6年間を通して取り上げられている。また、段階的な指導が行えるよう、題材の種類や配列が工夫され、基本的な技法や扱う道具についても分かりやすく図示されている。
4 表現や体裁等に関する事	・A4版 (212×297mm) 総ページ数 64～66 ページ 重量 245～253 g ・カラーユニバーサルデザインについて、配色やフォントの大きさなどの配慮がなされており、すべて見開き2頁で1題材を見やすく構成している。また、作品名のみ青で表示するなど、授業で活用しやすい工夫が図られている。 ・巻末の「使ってみよう材料と用具」では、各学年の題材に関わる材料などの扱い方を丁寧に示しており、一斉指導においても、児童が自分で参考にする際にも使いやすい。

【種目】 家庭

【発行者】 2 者

2 東京書籍

9 開隆堂出版

種 目【家庭】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・「課題発見」→「課題解決・実践活動」→「評価・改善」の3つのステップで学習を進める構成である。ステップ1・2では、「話し合おう」「やってみよう」「調べてみよう」などの投げかけを行い、ステップ3では、これまでの大題材の学びを統合し、「活動 深めよう」で実践的に取り組む構成である。 ・「家庭科の窓」を各題材の最初に設置し、生活の見方・考え方の視点を意識して学習が進められる。また、小題材ごとに、「めあて」と「ふり返り」を位置付け、毎時間こまめに学習を振り返る構成になっている。 ・題材数を5年生8題材、6年生7題材として、2学年通して繰り返し学習する構成にしている。 ・5年生で手縫いのフェルトのバッグを製作後、ミシン縫いのバンダナの巾着、エプロンの製作、そして6年生で題材指定されている「ふくろ」の製作としてトートバッグを取り上げている。 ・6年生の13「まかせてね今日の食事」において、個々が献立を考えやすい写真、手順が詳細に示してある。実習例にも写真が多く家庭実践に生かしやすい。 ・科学的根拠から理解を深めるための資料は、Bの領域でグラフ・図・表を9、サーモグラフィ・実験写真を10、ワークシート（例）を14掲載している。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・日本の伝統文化については、「衣生活」4ヶ所、「食生活」42ヶ所、「住生活」7ヶ所、その他（言葉や行為、支える人）を10ヶ所に示し、そのうち「食」についての郷土料理は21品を紹介している。 ・我が国の伝統的な日常食「米飯とみそ汁」については、資料を充実させ、確実に学習が身につくように、実習の流れが一目で分かるように示してある。また、「だしの取り方」が、文章で詳しく説明してある。 ・二次元コードが1つあり、合計14コンテンツある。QRコードを読み取ると、タブレット端末やパソコンで、動画などの資料を見たり、操作したりすることができる。 ・写真を効果的に取り入れ、個人追究による学習が成立しやすくなっている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・実習例では、おさえるべきポイントを児童に投げかける吹き出しを使って示している。 ・活動場面と巻末資料「いつも確かめよう」には、生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能をまとめてあり、「いつも確かめよう」はその多くを5年生で学習できるように配列してある。 ・教科書に直接書き込むことができるワークシートがあるため、ワークシート作成が軽減される。 ・各実習では「できたかな？」として自己評価できるようにチェック欄が設けてある。（2～3項目） ・生活の課題と実践を「生活を変えるチャンス！」として5ヶ所に設定している。 ・地域の人々や、各界のプロのインタビュー記事を掲載しており、児童の仕事や生活への興味が高まる。
4 表現や体裁等に関する事	・A4版（210mm×297mm） 重さ365g 厚さ6mm 総ページ数 146p （内容A；23p B；91p C；8p その他；24p） ・各題材の活動場面と巻末に「いつも確かめよう」を位置付け、作業手順や右利き左利きの手の使い方の実物大写真を掲載している。ソーイングは布は黄色、糸は青で示している。 ・ユニバーサルデザインに配慮したフォント（独自開発のUD教科書体）を使用し、調理や手縫いの手順の写真、実寸大写真等を掲載する等分かりやすく示している。 ・安全指導についてはマーク27ヶ所、指導内容の記述96ヶ所、防災指導についてはマーク4ヶ所、指導内容の記述8ヶ所に示されている。

種 目【家庭】

発行者 【9 開隆堂出版】

調査項目	意 見
1 学習指導要領改訂の趣旨及び内容に関すること	・「見つける・気づく」→「わかる・できる」→「生かす・深める」の3つのステップで学習を進める構成になっている。大題材の初めに、小題材全ての「めあて」と生活の見方・考え方の4視点を位置付け、それを踏まえた小題材ごとに「学習のめあて」を位置付け、全体を見通して学び、最後に振り返る構成である。 ・題材数を5年生 11 題材、6年生9題材として、内容をより細かく分けている。また、5年生で学んだことを6年生で生かし繰り返し学習する構成になっている。 ・5年生で手縫いのカード入れの製作後、ミシン縫いのランチョンマットの製作、そして、6年生で題材指定されている「ふくろ」の製作として、マイバッグとエプロンが提示されるなど、系統性・発展性に配慮している。 ・各題材の初めは「なぜ～」という問いかけで生活の様々な場面を想起させたり、前題材と比較して考えさせたりする提示がされている。 ・6年生の題材「できることを増やしてクッキング」では、「炒める」調理を取り上げる際、5年生で行った「ゆでる」調理との比較を行っている。 ・科学的根拠から理解を深めるための資料は、Bの領域でグラフ・図・表を8、サーモグラフィー・実験写真を7、ワークシート（例）を10 掲載している。また、動画でも見ることができる資料もある。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・日本の伝統文化については、「衣生活」6ヶ所、「食生活」108ヶ所、「住生活」3ヶ所、その他（行事）を9ヶ所に示し、そのうち「食」についての郷土料理は80品を紹介している。地域に伝わる食として、岐阜県の「くりきんとん」と「朴葉寿司」が掲載されている。 ・「だしの取り方」では、QRにより、3つのだしの取り方を動画で見ることができる。 ・二次元コードが31個あり、合計112コンテンツある。各題材にQRコードが記載されており調理の様子やミシンを使った製作の仕方、実験動画、学習内容を補充する資料など、コンテンツが充実している。クイズもある。 ・技能面の写真や動画は、詳細かつ分かりやすく丁寧に表現され、細部については拡大写真やイラストを添える等で示している。特に調理手順は写真や動画で示され、状態を確認しながら作業を進めることができる。 ・巻末に電化製品のプログラミングについて紹介してある。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・案内役のキャラクターと吹き出しを使って、学習のヒントや見方・考え方を投げかけている。 ・QRコードの動画により、技能に自信がもてない教師でも、基礎基本を定着させることができる。また、教師も動画を見て事前に正しい技能を獲得しておくことができる。 ・ねらいに合わせた題材の自己評価によって適切に評価ができる。特に、各実習では「できたかな？」で実習後の技能チェック欄が設けてある。（2～6項目） ・「生かす・深める」場では、新たな資料を活用し取り組む構成になっている。また、「家庭で実践しよう チャレンジコーナー」では、学習内容を生活に結び付ける方法例を示している。 ・「レッツ トライ 生活の課題と実践」では、実践のステップ（1～5）が掲載されている。
4 表現や体裁等に関すること	・A B版（210mm×257mm） 重さ306g 厚さ6mm 総ページ数 138p （内容A；16p B；85p C；14p その他；29p ※B C重複6p） ・ユニバーサルデザインに配慮したフォントを採用し、調理や手縫い等の実習場面では細かい手順を写真とイラストで示している。手縫いの写真は白い布に赤い糸で縫ってある。 ・ハウレンソウのゆで汁の色など、より実際の色に近いものが使用されている。 ・安全指導についてはマーク24ヶ所、指導内容の記述；93ヶ所、防災指導についてはマーク5ヶ所、指導内容の記述は16ヶ所に示されている。

【 種 目 】 保 健

【 発 行 者 】 5 者

2 東京書籍

4 大日本図書

207 文教社

208 光文書院

224 学研教育みらい

種 目【保健】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・「知識・技能」の習得のための内容として、『「心の健康」2 不安やなやみについて』の内容では、対処例7例、実習3例、相談窓口3カ所を6ページにわたって明記している。 ・「まとめる・生かす」では、学習したことを基に、自分の生活を見直していく活動が設定されている。 ・バトミントン選手のルーティーンを紹介し、極度な緊張のほぐし方について紹介するなど、アスリートの話が2例紹介されている。 ・保健領域の系統性について、領域内での系統は11カ所、体育との系統は2カ所明記されている。 ・児童の気付きを大切にした「気づく・見つける」では、主体的に学習に取り組むことができるように、問題意識を高めた後に学習課題を提示するようにしてある。また、「読み物」や「資料」を活用して、児童自らが主体的に学習できるような工夫がされている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	・6年生「病気の予防」では、健康を守る地域の活動について、多様な職業や取組をイラストや写真などで31種類紹介している。 ・動画やシミュレーションなど、デジタルコンテンツが合計29カ所用意されており、教科書にマークで示している。 ・「読み物」として、パラリンピック選手の生き方を紹介し、自己の生活につなげていけるようにするなど、学習内容と関連付けた資料の工夫が見られる。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	・全ての学習内容が「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」のパターンで構成している。学習の終末では、学習したことをどのように生活に生かせるかを考えることができるようになっている。 ・「解説」「実験」「検索」などのマークを使って、児童の効果的な学習の仕方を明示している。また、他教科（生活科・道徳科・理科・家庭科など）との関連を示している。 ・これまでの生活経験を振り返る活動を導入に位置付けている。気付いたことや見つけたことを記録するスペースが用意されている。
4 表現や体裁等に関する事	・ページ数 126 ページ ・3・4年生 140g、 5・6年生 240g ・図と絵は333カ所、表・グラフは26カ所、写真は187カ所配置するなど、ユニバーサルデザインに配慮している。 ・A4判 目次は見開き2ページで構成され、教科書内で使用されているマークやキャラクターの説明を記載している。

種 目【保健】

発行者【4 大日本図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・「知識・技能」の習得のための内容として、『「心の健康」3 不安やなやみについて』の内容では、対処例6例、実習4例、相談窓口2カ所を4ページにわたって明記している。 ・1単位時間の中で話し合う活動や、書く活動、振り返る活動が位置付けられ、自分の言葉で表現し、思考する場が位置付けられている。 ・健康からつながる夢と題して、子どもに向けたアスリートや将棋棋士の話が3例紹介されている。 ・保健領域の系統性について、領域内での系統は5カ所、体育との系統は2カ所明記されている。 ・興味・関心をもって課題に気付いたり、見つけたりできるように、児童が生活の中で出会うような場面を設定し、書いて表現する場が位置付けられている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	・6年生「病気の予防」では、健康を守る地域の活動について、多様な職業や取組をイラストや写真を使って12種類紹介している。 ・「ウェブマーク」とともに、どのサイトでどのような情報を得ることができるのかが合計10カ所示されている。 ・「もっと知りたい」のページでは、学習内容に関する資料を掲載し、単元が終了するごとに位置付けられている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	・一時間の授業で「話し合ってみよう・活用して深めよう」と「話し合ってみよう・やってみよう・活用して深めよう」の2つのパターンで構成されている。 ・単元導入時に大きな写真やイラストが位置付けられ、学習に興味をもてるような工夫がある。また、3・4年生ではシールを貼ることで評価をしたり、身長の伸びをシールで貼って確認したりするものが位置付けられている。 ・単元終了時に振り返りのページがあり、自分で学習の振り返りと学習したことを生かしたまとめができるようになっている。
4 表現や体裁等に関する事	・総ページ数 94 ページ ・3・4年生 120g、5・6年生 150g ・絵と図が276カ所、表やグラフが23カ所、写真が114カ所あり、ユニバーサルデザインに配慮した構成になっている。 ・A4 版（縦4センチ短い）目次は見開き2ページで構成され、教科書で出てくるマークやキャラクターについて説明を記載している。

種 目【保健】
 発行者【207 文教社】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・「知識・技能」の習得のための内容として、『「心の健康」3 不安やなやみについて』の内容では、対処例8例、実習8例、相談窓口の紹介が Web にて例示しており、6ページにわたって明記している。 ・各章末にある「わたしの〇〇宣言」では、理解したことを踏まえて、自分の考えを伝え合う活動が位置付けられている。 ・夢に向かってと題して、「心・技・体」についての陸上選手のメッセージを、児童に向けて2例紹介されている。 ・保健領域の系統性について、領域内での系統は4カ所カ所育との系統は1カ所明記されている。 ・各単元の最初には、興味関心をもって学習が進められるような動機付けのページが位置付けられている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・6年生「病気の予防」のでは、健康を守る地域の活動について、多様な職業や取組をイラストや写真を使って21種類紹介している。 ・ホームページの二次元コードを掲載し、必要な情報を選択して資料を提示したり、動画が視聴したりできるように12カ所用意されている。 ・「発展」では、個人差や性差に配慮した記述内容や図表が取り上げられている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・1単位時間の授業の構成では、「調べてみよう・やってみよう・話し合ってみよう・新しい自分にレベルアップ」の学習活動の中から、4つで構成されるものと3つで構成されるパターンの2種類がある。 ・授業導入時に生活を振り返る場があり、興味関心をもつための工夫がある。 ・学習のまとめでは、その時間に学習したことをもとに、これからの生活に生かしていきたいことを考えることができるようになっている。
4 表現や体裁等に関すること	・総ページ数 86 ページ ・3・4年生 150g、5・6年生 210g ・絵と図が396カ所、表やグラフが34カ所、写真が111カ所あり、ユニバーサルデザインに配慮した構成になっている。 ・A4版 目次は2ページで構成され、教科書に出てくるマークやキャラクターについて説明を記載している。

種 目【保健】

発行者【208 光文書院】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・「知識・技能」の習得のための内容として、『「心の健康」 3 不安やなやみについて』の内容では、対処例 7 例、実習 3 例、相談窓口 3 カ所を 4 ページにわたって明記している。 ・「話し合おう」では、それまで学習したことを基に考え、自分の考えを書いたり、仲間と話し合ったりする活動が位置付けられている。 ・「私と健康」と題して、児童に向けてのアスリートからのメッセージが 5 例紹介されている。 ・保健領域の系統性について、領域内での系統は 17 カ所、体育との系統は 2 カ所明記されている。 ・単位時間の導入では、これから学ぶことと自分の生活との関わりについて気付き、興味・関心をもって学習を進めることができるような活動が位置付けられている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第 3 次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	・ 6 年生「病気の予防」のでは、健康を守る地域の活動について、多様な職業や取組をイラストや写真を使って 17 類紹介している。 ・マークで、調べ学習に役立つ Web サイトが紹介されており、関連した動画コンテンツを 34 カ所閲覧できるようになっている。 ・巻頭ページに、パラリンピックも含めたアスリート選手の生き方や考え方の話が掲載されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	・ 1 単位時間の授業が、「はじめに・調べよう・話し合おう・学んだことを生かそう伝えよう」のパターンで構成されている。まとめは、その時間で学習したことを整理することと、学びを活用できるような工夫がなされている。 ・単元導入時に四コマ漫画が位置付けられ、学習に興味をもてるような工夫や学習の意味についての紹介がある。 ・単元終了時に学習の振り返りのページが 1 ページあり、自分で学習の振り返りと生活に生かすまとめができるようになっている。
4 表現や体裁等に関する事	・総ページ数 106 ページ ・ 3・4 年生 140g、5・6 年生 190g ・絵と図が 428 カ所、表やグラフが 43 カ所、写真が 142 カ所あり、ユニバーサルデザインに配慮した構成になっている。 ・A4 版 目次は 5 ページで構成され、目次で 1 ページ、学習意義や学習方法について 4 ページわたり記載している。

種 目【保健】

発行者【224 学研教育みらい】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・「知識・技能」の習得のための内容として、『「心の健康」2 不安やなやみについて』の内容では、対処例5例、実習4例、相談窓口10カ所を6ページにわたって明記している。 ・「考える・調べる」では、課題解決に向けて、比べる、確かめる、話し合うなどの活動が位置付けられている。 ・ページの中に、学校医さんや学校薬剤師さんなど身近な存在の挿絵を取り入れ、学習する内容を詳しく説明するように工夫している。 ・保健領域の系統性について、領域内での系統は9カ所、体育との系統は4カ所明記されている。 ・各単元の最初のページに、各章でどんなことについて考えるのかを問いかけることで、課題に気付いたり、見通しがもてたりすることができるようになっている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	・6年生「病気の予防」では、健康を守る地域の活動について、多様な職業や取組をイラストや写真などで31種類紹介している。 ・動画やシミュレーションなど、デジタルコンテンツが合計23カ所用意されており、教科書にマークで示している。 ・「もっと知りたい・調べたい」「発展」において、児童の探求心に応じて、学習したことを広げ深めることができる内容構成になっている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	・全ての学習内容が「つかむ」「考える 調べる」「まとめる 深める」のパターンで構成されている。学習のまとめは、その時間で学習した内容を整理することと、学びを活用できる工夫がなされている。 ・「実験」「おうちで」「ちいさで」などのマークを使って効果的な学習の仕方を明示している。また重要語句の解説が、同ページに丁寧になされている。 ・これまでの生活経験を振り返る活動を導入に位置付け、児童が学習に取りかかりやすいように工夫している。
4 表現や体裁等に関する事	・総ページ数 94 ページ ・3・4年生 140g、5・6年生 200g ・図と絵は317カ所、表・グラフは14カ所、写真は157カ所配置するなど、ユニバーサルデザインに配慮している。 ・A4判 目次は3ページで構成され、各学年で学ぶ内容を分けて記載してある。5・6年生の教科書には、3・4年生で学んだことを記載している。

【 種 目 】 英 語

【 発 行 者 】 7 者

2 東京書籍

9 開隆堂出版

11 学校図書

15 三省堂

17 教育出版

38 光村図書出版

61 新興出版社啓林館

種 目【英語】
 発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・言語活動の設定数は、L35 回、S(I)35 回、S(P)11 回、R39 回、W40 回となっている。(6 年生) L、S(I)、S(P)を統合する活動は、各学年 3 回設定されている。(例 6 年生 p 60-61) ・読むこと(R)、書くこと(W)に関する分量 6 年生 Unit8 S(I) R 8 文 (部活、行事、得意なこと、職業) W 4 文 (自分の夢について) ・構成・配列上の特徴は、約 3 単元に 1 回 Check Your Steps のコーナーを設置し、学習した内容を確かめることができるようになっている。年間を通して、小学生にとって特に難易度の高い表現 (副詞、過去形、助動詞) などは、話題に変化をつけながら何度もスパイラルに取扱い、定着を図っている。(知識・技能) ・「学び方みいつけた！」のコーナーで、前学年で押さえておきたい内容を扱っている。各単元末の Over The Horizon でその単元の学習テーマに関わる他教科の内容を紹介している。(社会、国語、総合、道徳、理科、保健、家庭) ・主体的な学びを実現するために、世界の 7 人の子どもたちのプロフィールを聞きながら、あんな風に話してみたいという憧れをもたせている。(6 年生 P6-7) Enjoy Communication の Step3 のイラストで、Unit 全体のめざす姿を示している。
2 岐阜県教育振興基本計画(第 3 次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	・日本、世界を扱う単元では、日本を扱う単元数 5 年生 3 個：(例) ふるさとメニュー。6 年生 3 個：(例) 食生活。世界の国々を扱う単元数 5 年生 7 個：(例) 世界に広がる日本文化。6 年生 8 個：(例) 地球の生き物がある。 ・Over the Horizon で「日本のステキ」が各 Unit の中に位置付けられている。 ・QR コード数は、5 年生 47 個、6 年生 47 個。提供されるデータの種類の、音声 5 年生 47 個、6 年生 47 個、動画 5 年生 24 個、6 年生 24 個がある。別冊の Picture Dictionary には、QR コードが 63 個。提供されるデータの種類の、音声 63 個、動画 1 個。 ・Over the Horizon の中に Challenge の内容があり、発展的に扱うことができる。Picture Dictionary にある「こんなときどういうの？」は small talk 等のコミュニケーション活動において、会話をよりよく長続きさせたい児童にとって役に立つ。 ・CILL (内容言語統合型学習) を軸に、他教科 (和楽器、ローマ字と英語の違い、足し算、6 年生では、家庭科の 5 大栄養素など) で学んだ題材を扱っている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	・ページの中で、1 単位時間の流れが分かりやすい。ページごとに、Small Talk と、Sounds and letters(文字指導)までが入っている。文字指導は教科書付属の巻末資料を使つての文字指導 (Sounds and letters) を毎時間 5 分ずつできるようになっている。また、振り返りシートの充実し、ALT 用指導案が用意されている。 ・巻末コミュニケーションカードがあり、そのまま使えて準備がいない。使った後も、教科書に貼るページがあり、学びの足跡が残る。 ・Check your steps (年 3 回) では、これまでの既習表現の何を用いてどんな活動をすればよいのかが明確にされ、総括的評価に役立つ活動となっている。 ・Picture Dictionary が充実しており、これを使って家庭学習ができる。音声 QR コードを活用できる。
4 表現や体裁等に関する事	・判型は A4 判で、重さ 279g、厚み 5.0mm、総ページ数 106p いずれも最小である。別冊 (Picture Dictionary) があり、2 年間さらには中学校でも活用できるようにしている。 ・フォントは新ユニバーサルデザイン書体、新 4 線を使用している。聞いて読む箇所の、S (主語)、V (動詞) には色づけがされている。 ・巻末資料は、書く活動をする際記入できるワークシート 4 ページ、活動用カード (全てにミシン目入り) 4 枚、その他 7 ページが用意されている。(6 年生)

種 目【英語】
発行者【9 開隆堂】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・言語活動の設定数は、L57回、S(I)27回、S(P)16回、R17回、W20回となっている。(6年生)単元の最後の「Let's Try」では、英語で自分を表現する活動が位置付けられている。 ・読むこと(R)、書くこと(W)に関する分量 6年生 Lesson10 S(I)(P60) R 4文(将来の夢とその理由) W 4文(名前、自分の夢とその理由) ・構成・配列上の特徴は、各学年に2回、身に付けた知識や技能を活用する Project が設定されている。各単元では、Let's Try のコーナーで、学習した内容を生かしたまとめの活動を行う。教科書後半に「文字に慣れよう」のコーナーを独立して設け、「読み・書き」の学習が体系的にまとめられており、15分単位のモジュールでも授業展開が可能である。 「文字に慣れよう」では、音や文字の関係や英語を書くための基礎的なルールを示し、文字を段階的かつ体系的に学ぶことができる。(知識・技能) ・他教科(国語、算数、社会、理科、家庭、図工)との関連が図られている。 ・主体的な学びを実現するために、写真でどのように自己紹介を行うのかがイメージしやすくなっている。見通しがもてるように、文章でも活動の流れや目的が示されている。(6年生 P4-P5)各単元に必ずペアワーク、グループワークが設定されており、友達同士で協力し合い、学習に取り組むことができるようにしてある。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・日本、世界を扱う単元では、日本を扱う単元数5年生2個:(例)十二支。6年生2個:(例)日本のよいところ。世界の国々を扱う単元数5年生4個:(例)物価。6年生6個:(例)世界の衣食住を知ろう、学校行事。 ・地域を扱う教材として、指導書CD-ROMで岐阜県バージョンの資料がある。5年生 Lesson 9わが町の紹介(鵜飼、岐阜城)、6年生 Lesson 4日本のことを紹介しよう(白川郷) ・QRコード数は5年生34個、6年生35個。提供されるデータの種類は音声5年生34個、6年生35個、動画5年生2個、6年生なし。ゲーム的な活動のルール説明も動画で確認できる。 ・「チャレンジ」コーナーを、5年生は3カ所、6年生は2カ所設定している。 ・発展教材として、5年生では、プログラミングを融合した活動、変身絵カード(図工)、自分の町紹介ポスターなど、他教科との関わりをもって活動できる教材となっている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・1単位時間の流れが分かりやすい。各単元は1ページ45分で、各 Lesson の導入では Small Talk の題材として活用できる項目が設定されている。また、文字指導は3つの構成でできていて、15分×3のモジュールでも授業の展開ができる。各 Lesson における「書くこと」「読むこと」については、巻末の「文字に慣れよう」のページにまとめられている。 ・外国籍児童への配慮として、まだ日本語に不慣れな児童に向けた資料を教師用指導書に収録してある。(英語、韓国語、スペイン語、タガログ語、ベトナム語、ポルトガル語) ・各 Lesson に振り返りの項目が記載されており、各 Lesson で付けたい力が明確にされている。 ・家庭学習において音声 QRコードを活用できる。また、巻末にアルファベット順の単語リストがあり、ふろくの絵カードと合わせて家庭学習に活用できる。
4 表現や体裁等に関すること	・判型はAB判で、厚み9mmは最大である。 書きやすい4線(4:5:4)と消しやすい特別の用紙を使用している。 ・フォントは独自の手書きに近い欧文書体を使用している。 絵カードの教科書と切り離す部分にミシン目がある。 ・巻末資料は、単語絵カード8枚、単語リストと中学への接続関連26ページが用意されている。(6年生)

種 目【英語】
 発行者【11 学校図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・言語活動の設定数は、L56回、S(I)27回、S(P)10回、R33回、W34回（6年生）となっている。歌やチャンツ、聞く活動が多く、音声によるインプットを重要視している。 ・各レッスンでは、英文をなぞってから書き写すステップを踏むなどして、書くことへの意欲をもてるようによく工夫されている。 読むこと(R)、書くこと(W)に関する分量 6年生 Lesson8 S(1) R 7文（将来の夢、相手に夢を尋ねる文） W 7文（名前、自分の夢、質問文） ・構成・配列上の特徴は、毎時間行う基本セット（歌、シーンの会話、Let's Listen、Let's Chant）が設定されている。各学年に2回、発表用シートを作って Show & Tell 形式で発表を行う Project Time を設定している。また、音声に関して、語順や語彙への気付きを促すページを設けている。（6年生 p102）（知識・技能） ・Pre-lesson で前学年までの既習表現の復習ができるようになっている。他教科（国語、社会、家庭、理科、算数）との関連が図られている。 ・主体的な学びを実現するために、学級の中で誰もが対話をしている様子を表し、積極的に誰とでも話すことを促している。また、こまや将棋、けん玉など日本文化を扱っている。（6年生）
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・日本、世界を扱う単元では、日本を扱う単元数5年生2個：(例) 日本の文化（こま、けん玉、竹馬）、6年生4個：(例) 祭り、有名人。世界の国々を扱う単元数5年生2個：(例) 名所や食べ物、6年生1個：(例) ごみ、ダンスがある。 ・QR コード数は5年生27個、6年生27個、提供されるデータの種類の、文の音声と絵と文が5、6年生ともに27個がある。 ・毎時歌があり、昔から歌い継がれている歌を通して、英語の自然なリズムやイントネーションを学ぶようにしている。歌詞も巻末にすべて記載している。 ・発展的な内容として、コラムがあり、外国や日本のことを楽しく紹介している。また、まとめの活動として、年間2回のプロジェクトタイムが設定されている。発表用シートを作って Show & Tell 形式の活動を行う。 ・外国や日本の文化、英語以外の教科に関連した物には、マークが付いている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・ページの中で、1単位時間の流れが分かりやすい。ページごとに、Small Talk と、Sounds and letters（文字指導）までが入っている。また、1つの活動がすべて15分ずつで構成されていて、1単位時間が組み立てやすい。文字指導も Alphabet Corner で、毎時のレッスンの中に位置付けられている。 ・各レッスンの最初に日本語で「レッスンの目標」と「進め方」が児童向けにも書かれていて、見通しをもちやすく、単元の最後には、それに基づいて振り返り、自己評価することができる。 ・学習で使いたいクラスルーム・イングリッシュ、挨拶等の掲載があり、授業での英語の指示・称賛の手助けとなる。 ・家庭学習において音声 QR コードを活用できる。
4 表現や体裁等に関すること	・判型はA4判で、重さ423gは最大である。 ・フォントはUD デジタル教科書体（文科省 We Can!で使用したフォントに似た字形）を使用している。 学年配当漢字や上位学年漢字には全てルビを付記している。 書きやすい縦幅、5:6:5の比率の4本線を使用している。 ・巻末資料は、単語絵カード（33mm×20mm、普通ページと同材質、5年生既習語含む）8ページ、アルファベット練習コーナー2ページ、参照用の歌詞5ページが用意されている。（6年生）

種 目【英語】
発行者【15 三省堂】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・言語活動の設定数は、L33回、S(I)40回、S(P)9回、R9回、W7回となっている。(6年生) 聞いて、その話題について話すという活動が仕組まれている。(6年生 p70) ・聞いて、聞き取ったことを書く、書いたことを話す活動が仕組まれている。(5年 p48-49) ・読むこと(R)、書くこと(W)に関する分量 Lesson6 S(1) R 6文(親子の対話文、セリフ) W1文+8単語(職業名、自分の夢について) ・構成・配列上の特徴は、各学年を3つの大単元で区切り、各大単元は、HOP(見通し)、STEP(習得) JUMP(活用)で1ユニット、各学年に3ユニットで構成されている。3つのプロジェクト型の活動を設定し、学習した内容を活用する流れとなっている。各パートでは、パノラマで展開される対話からターゲット表現に焦点化している。 - Listen & Talk など、1つの活動で終わるのではなく、技能を組み合わせながら、インプットからアウトプットまで行うことができるようにしている。(知識・技能) ・「英語で言えるかな」で前学年までの既習表現の復習をしている。他教科(国語、算数、道徳、総合)との関連が図られている。 ・主体的な学びを実現するために、児童が学習してきた語彙を使用しやすいように、多くの物が示されている。また、文字への関心を高めるために食べ物には英単語が付けられている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・日本、世界を扱う単元では、日本を扱う単元数5年生3個:(例) 名所、6年生2個:(例) 時間割。世界の国々を扱う単元数5年生4個:(例) 標識、6年生3個:(例) ポスターがある。 ・5年生 Welcome to Japan(日本のこと伝えたい)、6年生 L.7 At this moment で自文化の発信、多文化の尊重、共生の題材を扱っている。 ・QRコード数は、5年生74個、6年生80個。 ・充実した「ふろく」で自ら学ぶ力をはぐくむ。「表現をサポートする語彙リスト」、「各種コラム」、「教室で使う英語」、「会話を続ける工夫」がある。別紙付録(ローマ字アルファベット表、アルファベットカード、時差時計)の活用もできる。 ・Jump(presentation)の単元が各3回あり、自己目標を設定して活動に取り組むことができる。 ・Story では世界の名作や昔話などを扱っており、情景を思い描きながら「聞くこと」の学習を進めることができる。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・各 Lesson が HOP→STEP→JUMP で構成されており学習のプロセスが明確である。HOPで、学習の流れと目標、出口の姿を明確にもつことで、各 Lesson の「まとめとふりかえり」で自己の振り返りを行うことができる。JUMP では、Presentation を行うための手順が掲載されておりコミュニケーションに至るまでの手順が明確にされている。 ・ワークシートを利用しながら活動する様子を評価したり、パフォーマンスによる評価をしたりとルーブリックをもとに多様な評価が可能である。 ・掲載されている音声 QRコードを活用することで児童が自身の学習理解に合わせて家庭学習を進めることができる。
4 表現や体裁等に関すること	・判型はAB判で、厚み5mmは最小、重さ293gは平均以下である。 ・フォントは、専用の手書き文字フォントを使用している。 - 紙は白色度の高すぎないものが使用されており、見やすい。 - ワークシートの教科書と切り離す部分にミシン目がある。 ・巻末資料は、活動に使えるワークシート3枚、アルファベット表1枚、ワード&フレーズ集21ページ、その他7ページが用意されている。(6年生)

種 目【英語】
 発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・言語活動の設定数は、L20 回、S(D)17 回、S(P)7 回、R9 回、W9 回となっている。 文字と音の結びつきを各レッスンで 1 ページ設定している(Sound & Letters)。(6 年生 P72) Let's Read & Write という形で活動が統合されている。(全単元) ・読むこと(R)、書くこと(W)に関する分量 6 年生 Lesson8 S(P) R 10 文 (夢、理由、したいこと、質問) W3 文 (夢、理由、したいこと) ・構成・配列上の特徴は、約 3 単元ごとに、Let's Read & Act のコーナーを設け、英語を読むこ とに慣れ親しませている。(避難訓練、道徳教材、国語教材) 各単元末に Sound & Letters と Review コーナーを設け、音と文字の結びつきを学習できるよ うにしている。(知識・技能) ・導入単元「Let's Start Together」において、前学年の学習内容を取り扱っている。また、他教 科 (社会、体育、国語、道徳、理科) との関連が図られている。 ・主体的な学びを実現するために、外国から来た転校生とクラスメートという状況が理解しやす いように、登場人物の名前が示されている。また、相手の出身が想像しやすいように、吹き出 しに自由の女神が描かれている。(6 年生 p12-13) 6 年生の最後に、これまでに学んだことを生 かして My Book を作る活動が設定されている。
2 岐阜県教 育振興基 本計画(第 3 次岐阜 県教育ビ ジョン)の 基本方針 に關する こと	・日本、世界を扱う単元では、日本を扱う単元数 5 年 1 個:(例) 都道府県、6 年生 2 個:(例) 日 本の文化。世界を扱う単元数 5 年生 1 個:(例) 世界の時差、6 年生 1 個:(例) 国旗、旅行案 内がある。日本を扱う単元の 5 年生 L. 6 Where do you want to go?や 6 年生 L. 3 Welcome to Japan では、日本の文化について、世界に発信する形で自己表現できるようになっている。 ・単元におけるテーマは、身近な事柄→地域にかかわる事柄→国内→海外へと広がるように構成 されている。 ・QR コード数は、5 年生 1 個、6 年生 1 個。提供されるデータの種類は、HP 上で 5 年生音声 51 個、動画 18 個、6 年音声 60 個、動画 17 個がある。 ・辞書の使い方 (6 年生) としてじぶんの思いや考えを表現するために参照することができるペ ージを設定。(はってんマーク) ・Look at the world は国際理解につながるページとなっている。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	・切り取って使える巻末の活動カード (5 年生 4 枚、6 年生 10 枚) が充実しており、事前準備 が軽減される。活動後、達成感を味わうことのできる構成となっているので、児童の表現意欲 を高めることができる。また、Sound and letters では、短時間学習などを考慮し、文字に慣 れ親しむことができる。 ・各 Lesson には「Lesson をふりかえろう」が設定されており、単元を通し、自己の振り返りを することができる。 ・学びリンクでは、無料のウェブコンテンツへの接続が可能となっており、授業で使う動画や 音声などを繰り返し聴くことができるようになっている。
4 表現や体 裁等に関 すること	・判型は AB 判で、重さ、厚み、総ページ数ともに平均的である。 ・書くときのアルファベットに近いフォントを使用している。 コミュニケーションカードにミシン目が入っている。 折り込みアルファベット表が、教科書本文見開き 2 ページの横に広げて使える。 ・巻末資料が豊富で、単語絵カード 3 枚、教科書内容に即したワークシート 9 枚、和英辞典の使 い方とワードバンク 8 ページ、卒業文集のようになる My Book 1 枚が用意されている。(6 年 生)

種 目【英語】

発行者【38 光村図書出版】

調査項目	意 見
1 学習指導要領改訂の趣旨及び内容に関すること	・言語活動の設定数は、L36回、S(I)11回、S(P)16回、R8回、W18回となっている。(6年生) 伝え合う活動時には、Response のマークが設定され、反応し合うことを位置付けている。ページ下には単語等の発音のコツが記載されている。 ・読むこと(R)、書くこと(W)に関する分量 6年生 Unit8 S(I) R4文(発表のモデル提示) W4文(なりたい職業と理由) ・構成・配列上の特徴は、各レッスンの最初のページに、単元のゴールと各単位時間の役割を明記している。2～4単元ごとに Review(復習)が位置付けられており、英文を読んだり、クイズに答えたりして、学んだことを振り返ったり広げたりすることができる。相手への反応や、思いやる言葉を多く取り入れ、Response のコーナーを14か所設け、相手意識を高めている。(知識・技能) ・Let's Start 単元を準備し、前学年で触れた学習内容を振り返ることができるようにしている。また、他教科(体育、特活、国語、社会、理科、図工、家庭科)との関連が図られている。 ・主体的な学びを実現するために、留学生交流会という場面で、初対面であるという状況が明確になっている。また、見通しがもてるように、単元でできるようになることと短時間で行うことが示されている。(6年生 p18-19)
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・日本、世界を扱う単元では、日本を扱う単元数5年生1個:(例)ユニバーサルデザイン、6年生3個:(例)有名人、日本の行事。世界の国々を扱う単元数5年生4個:(例)世界の祭り、休日。6年生3個:(例)世界の友達がある。 ・Jump 中にある World Tour では、世界と日本を比べて見方・考え方を広げる活動が行えるようになっている。 ・QRコード数は、5年生57個、6年生58個。提供されるデータの種類は、音声5年生71個、6年生70個、動画5年生117個、6年生91個、その他5年生21個、6年生39個がある。また、QRコードの中に、「ウェブ資料」として調べられるリンクがある。 ・Review の中で「世界の友達」として、各国の食、文化、服装、工芸等を詳しく紹介し、世界の多様性に気づき、見方・考え方を広げている。 ・Fun time では、文字遊び、歌、物語などを紹介。授業のウォームアップで使うなど、他教科で学んだことを活かした活動が設定されており、楽しみながら英語に親しむことができる。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・授業の流れが分かる「今日のレッスン」というコーナーがデジタル教科書になり、順番にクリックすると、各活動画面が表示されるようになっている。また、全ユニットの Small Talk 例が掲載されている。 ・各単元の導入では、終末の姿が明記されているため、各単位時間で身に付けたい力を明確にすることができる。各単元の「ふりかえろう」と連動した巻頭の CAN-DO リストをもとに評価につなげることができる。Step 1、Step 2 では形式的な評価、Jump では総括的な評価を行うことができる。 ・家庭学習において音声 QR コードを活用できる。単元で学んだこと全体を、Story(物語で見応えのあるもの)を視聴しながら家庭でも確認できる。
4 表現や体裁等に関すること	・判型はAB判で、総ページ数163ページは最大である。 ・フォントはオリジナルの書体やUD書体を使用している。軽くて裏移りしにくく、鉛筆で書き込みしやすい質感の紙を使用している。マーカーで書いて消せるアルファベット練習シートや活動や振り返りで使えるシールがある。 ・巻末資料は、単語絵カード7枚(切り離し部分ミシン目)、絵辞典18ページ、表現集などその他7ページ、すごろく見開き3ページが用意されている。(6年生)

種 目【英語】

発行者【61 新興出版社啓林館】

調査項目	意 見
1 学習指導要領改訂の趣旨及び内容に関すること	・言語活動の設定数は、L66 回、S(I)9 回、S(P)24 回、R23 回、W29 回となっている。(6 年生) Chant は英文で、英語らしいリズムを強調している。 ・読むこと(R)、書くこと(W)に関する分量 6 年生 Unit7 S(P) R 9 文(写真の様子を表す文) W 3 文、6 単語(職業名、将来の夢) REVIEW の CHALLENGE ではポスターやグラフから情報検索し、必要な情報を得る活動が工夫されている。 ・構成・配列上の特徴は、前学年の活動や学習とつながる単元から始まり、Unit で学習し、Review で学期末のまとめを行う。場面や状況を考えて答える問題には「思」(思考マーク)が付けてある。 Jingle や Chant を通して、何度も聞いたり発話したりするなど、音声からのインプットを多く取り入れている。(6 年生 p32-33) (知識・技能) ・Pre Unit を設け、前学年の活動や学習からの橋渡しとしている。他教科(国語、社会、算数、理科、特活)との関連が図られている。 ・主体的な学びを実現するために、外国への関心をもつように、世界地図を示している。また、何を会話の内容にするのかをイメージしやすいように、話題として、スポーツ、料理、漫画、行事などを示している。(6 年生 p10-11)
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・日本、世界を扱う単元では、日本を扱う単元数5年生1個:(例) 行事、6年生3個:(例) 日本紹介。世界の国々を扱う単元数5年4個:(例) 授業、マナー、看板、6年生1個:(例) 自己紹介がある。 ・「Did you know?」のコーナーでは、日本と異なる外国の言語的、文化的な内容に触れることで、多様性に気付き、さらには興味をもったものを調べ学習へと広げられ構成になっている。 (5 年:世界の行事、記号、給食を知る。日本語英語と英語との発音の違いや語順、食事の仕方などのちがいを知る。)(6 年生:オリンピックでは国名は3文字表記されていることを知る。外国で定着した日本の食材、文化、職業、スポーツなどがあつたりすることを知る。) ・QR コード数は、5 年生 48 個、6 年生 44 個。提供されるデータの種類の、音声5年生 42 個、6 年生 43 個、その他5年生6個(例) 目次や筆順、6 年生1個がある。 ・学期末の Review に challenge 問題を設定している。多様な言語活動が展開できるように、掲示板やポスター、グラフ等の情報を掲載している。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・各 Unit がパターン化された構成(導入→インプット・インテイク→アウトプット→振り返り)になっており、教科書で授業を進めていくことができる。ゲームの進め方様々な Small Talk の会話例などが詳しく掲載されている。 ・各 Unit のスタートでは、GOAL(到達目標)が明記されており、見通しをもって学習を進めていくことができる。各 Unit に「Looking Back」が設定されており単元の振り返り・自己評価を行うことができる。 ・掲載されている音声 QR コードを活用することで児童が自身の学習理解に合わせて家庭学習を進めることができる。
4 表現や体裁等に関すること	・判型は AB 判で、重さ、厚み、総ページ数ともに平均的である。 ・識別しやすい UD フォントを使用し、4 線は 5:6:5 の比率となっている。 書きやすく、消しやすい、軽量で丈夫な紙を採用している。 「メディア・ユニバーサル・デザイン協会」による検証がされている。 ・巻末資料は、ワードリスト 21 ページ、単語絵カード(全てが切り離せるミシン目入り) 8 枚用意されている。(6 年生)

【 種 目 】 道 徳

【 発 行 者 】 8 者

2 東京書籍

11 学校図書

17 教育出版

38 光村図書出版

116 日本文教出版

208 光文書院

224 学研教育みらい

232 廣済堂あかつき

種 目【道徳】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・ いじめ問題について、ユニット式とし、複数時間にわたっていじめのことを考えるようになっている。また、間接的な教材でもねらいとする道徳的価値にせまろうとしている。5年生で、「導入」、「公正・公平・社会正義」、「親切・思いやり」という流れになっている。 ・ 教材数は、読み物 201 教材、問題解決 6 教材、体験 12 教材。 ・ 「つながる・広がる」で他教科等との関連を明示している。巻末資料で、他教科や実生活との関連が分かる。 ・ 1 年生 [A 自分自身] 10 教材、[B 人との関わり] 9 教材、[C 集団や社会] 9 教材、[D 生命や自然、崇高なもの] 6 教材、全 34 教材。6 年生 [A 自分自身] 8 教材、[B 人との関わり] 7 教材、[C 集団や社会] 12 教材、[D 生命や自然、崇高なもの] 8 教材、全 35 教材。 ・ 重点内容項目として、「D 生命の尊さ」（全学年に 3 教材）、「B 親切思いやり」（4 つの学年に 3 教材）を配置し、繰り返し学習できる構成にしている。 ・ 考え議論するための「活動型教材」や児童自身が「問題を見つけて考える」教材が、各学年に 1 つずつ導入されている。 ・ 1・2 年生では導入(1)展開(0)終末(0)、3～6 年生では導入(0)展開(1)終末(1)の場面で発問を位置付けている。 ・ 1 つ目の発問は価値に迫るため、2 つ目は自分を見つめるための発問が多い。
2 岐阜県教育振興基本計画(第 3 次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・ 伝統、郷土に関する教材は、1・2 年生 1 教材、3～6 年 2 生教材。 ・ 岐阜県関連の教材はなく、巻末についている付録に写真資料がある。(3 年生・・・揖斐川町の祭り、5 年生・・・郡上市の植林作業) ・ 3 年生以上の付録で地域の写真や資料、歌を掲載している。 ・ 裏表紙に二次元コード、教材ページに D マークがある (各学年 4 計 24)。画像、動画の素材があり、動画に解説がある。自然、偉人、国際、伝統などの扱いが多い。必要なものに限られている。 ・ 学年初めに「なりたい自分」、学年末に「成長したこと」を記述し、自分を見つめ直すコーナーを位置付けている。 ・ 単位時間の学習状況の成長を振り返る「学習の振り返り」ページを位置付けている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・ 巻頭に、道徳の学習の進め方、話し合いの約束、ショートストーリーでミニ授業ができる「ちょっとみんなで話し合ってみよう」が設けられ、学習の見通しがもてるようになっている。 ・ 単位時間の学習状況の振り返りを蓄積し、変容を捉えて評価に生かすことができる。 ・ 教材の冒頭に「考えながら読もう」を示し、問題解決的な学習を進めやすくしている (3 年生以上)。 ・ 家族や地域活動に関する題材を取り上げ、家庭や地域社会の一員としての役割と責任の自覚を深めるように工夫されている。(巻末・付録のページ「つながる 広がる」)
4 表現や体裁等に関すること	・ 大きさ：210mm257mmAB 版) ・ 重量とページの平均：163 ページ、332g ・ 学年段階に応じた文字の大きさや行間である。UD 書体を使用している。 ・ 文章の記述は、1 年生は、分かち書きである。5 行ごとに行番号が付いている。 ・ ノートなし。 ・ 目次の次のページに、4 つの視点と内容項目を分かりやすく明示したページがある。 ・ 巻末に、「学習の記録」と「一年の振り返り、次年度への思い」のページがある。

種 目【道徳】

発行者【11 学校図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・ いじめ問題について、年間を通して考えられるように「ともにいきる」を配置してある。各学年4～7教材を採用している。 ・ 教材数は、読み物 194 教材、問題解決 19 教材、体験 223 材。 ・ 巻末に、防災教育やキャリア教育など、「関連する現代的課題」を明示している。 ・ 1年生 [A 自分自身] 10 教材、[B 人との関わり] 8 教材、[C 集団や社会] 10 教材、[D 生命や自然、崇高なもの] 6 教材、全 34 教材。6年生 [A 自分自身] 9 教材、[B 人との関わり] 7 教材、[C 集団や社会] 13 教材、[D 生命や自然、崇高なもの] 6 教材、全 35 教材。 ・ 内容項目は、どの学年もバランスよく配置されている。(同一内容項目で3教材以上はなし) ・ 他教科等との関連は、教材の配列は学校行事や学校生活を題材にした教材を実際の学びの時期に対応するように配慮されている。コラムで関係する人物や図書などの紹介をしている。 ・ 別冊「まなび」に「かんがえよう」「やってみよう」というコーナーを設定し、意見を交流し合ったり役割演技を導入したりして体験的に学べるようにしてある。 ・ 別冊「まなび」に、導入(0)展開(1)終末(1)の場面で発問を位置付けている。 ・ 場面から問題に気付く発問、価値についてじっくりと考える発問、自分の価値観を確かめる発問で構成されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・ 伝統、郷土に関する教材は、1～4年生1教材、5・6年生2教材。 ・ 岐阜県関連の教材は、4年生「荘川桜」。 ・ 全学年にふるさとコラムとして多数の地域の写真や資料を掲載している。岐阜県の資料は、5年生・・・祭り(高山、飛騨、大垣)、6年生・・・長良川の鮎。 ・ すべて教材のページに二次元コードがある。 ・ 画像(登場人物、自然など)で外部リンクにつながるものは一つのみ(6年生 世界農業遺産を調べる)。 ・ 価値項目ごとに編集された別冊「まなび」が用意されている。「自分の考え」と「友達の考え」を記録しながら、学期ごと、年度ごとのポートフォリオとしてまとめていくことができる。 ・ 感じたことや考えたことを記述する欄が設けられており、年間の振り返りとして活用できる。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・ 巻頭に、道徳の学習の進め方を、ノートの巻末に学び方のヒントを掲載し、話し合いの具体を示している。「初めの一步」と称し、学級づくりの手立てを提案している。 ・ 別冊「まなび」に、自分と友達の考えを記述する欄や、「つなげていこう」という自己評価欄が設けてあり、深い学びや評価に生かすことができる。 ・ 巻頭に、各学年に応じた話し合い活動を意識した学級づくりの内容が見開きで明示してある。 ・ 新聞記事や実際のできごと、実際の地域社会で起こりうる状況など、写真やイラストなど、さまざまな方法で示し、児童の興味・関心を引き付け、思考を促す工夫がなされている。 ・ 別冊「まなび」に家庭や地域との連携を図り、家や地域の人に書いてもらう欄が設けてある。1年生「よいところさがし」(P12)、3年生「だれかのために、できることを」(P30)など。
4 表現や体裁等に関すること	・ 大きさ：210mm257mmAB版) ・ 重量とページの平均：177 ページ、399g ・ 学年段階に応じた文字の大きさや行間である。フォントは主に教科書体を使用している。 ・ 文章の記述は、1学年は、分から書きされている。5行ごとに行番号が付いている。 ・ ノートが、別冊である。 ・ 自分の考え(主体的学び)と友達の考え(対話的学び)を表現する欄を設けている。

種 目【道徳】
 発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・ いじめ問題について、傍観者の立場から考える教材も扱っている。 ・ 教材数は、読み物 188 教材、問題解決 34 教材、体験 56 教材。 ・ 巻末「学習内容一覧」に、他の教科等との関係を明示している。 ・ 学校行事や他教科等と関連を図った教材配列になっている。 ・ 1 年生 [A 自分自身] 9 教材、[B 人との関わり] 7 教材、[C 集団や社会] 11 教材、[D 生命や自然、崇高なもの] 7 教材、全 34 教材。6 年生 [A 自分自身] 12 教材、[B 人との関わり] 6 教材、[C 集団や社会] 11 教材、[D 生命や自然、崇高なもの] 6 教材、全 35 教材。 ・ 内容項目でまとめた教材配列になっている。 ・ 重点内容項目として、「C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」（3 年生以上の学年に 4 教材）を配置し、繰り返し学習できる構成にしている。 ・ 低学年は動物を登場人物にした物語教材が多い。中学年は児童の生活場면을題材にした教材が多い。高学年は自己の生き方を深める教材が多い。 ・ 導入（1）展開（3）終末（1）の場面で発問を位置付けている。主発問に☆がついている。 ・ 発問のほか、多くの教材末に「やってみよう」を設け、動作化や役割演技などの体験的活動を多く取り入れている（2 年生 9 教材、3 年生 12 教材、4 年生 10 教材）。 ・ 展開の発問は、主人公に着目した内容で考えがもちやすい。 ・ 「モラルスキルトレーニング」は各学年に 2 教材以上配置し、具体的な行動について考えるようにしている。
2 岐阜県教育振興基本計画（第 3 次岐阜県教育ビジョン）の基本方針に関すること	・ 伝統、郷土に関する教材は、1・2 年生 2 教材、5 年生 3 教材、3・4・6 年生 4 教材（補助教材を含む）。 ・ 岐阜県関連の教材は、4 年生「かことげんざいがともに生きる町」白川村荻町（※コラムに掲載）、6 年生「六千人の命のビザ～杉原千畝～」がある。 ・ 裏表紙に二次元コードがある（3～6 年生）。「まなびリンク」が 49 箇所設定されている。何が必要か調べて準備する必要がある。 ・ 一年間を三つの「学習のまとまり」に区切り、それぞれのまとまりの終わりに「学びの記録」を設けている。 ・ 一年間の学習で心に残ったことや成長した自分を振り返ることができる欄を巻末に設けている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・ 巻頭には、「道徳開き」と「学びのガイダンス」がまとめてある。 ・ 展開の発問（2～3 つ）、終末の発問（1 つ）で、そのまま授業が進められる。 ・ 「つなげよう」「やってみよう」が適宜設けてあり、若手教員にも対話的活動が実践しやすい。 ・ 「学びの記録」を学習のまとまりごとで評価に生かすことができる。 ・ 「家の人から一言」の欄を設けており、道徳の学習について家庭で話題にし、書き込んでもらうことで、家庭との連携を図ることができる。
4 表現や体裁等に関すること	・ 大きさ：210mm×257mm（AB 判） ・ 重量とページの平均：151 ページ，319g ・ 学年段階に応じた文字の大きさや行間である。UD 書体を使用している。 ・ 文章の記述は、2 年生 2 月までは、分ち書きされている。 ・ 5 行ごとに行番号が付いている。 ・ ノートはなし。巻末には、「学習の記録」と「1 年の振り返り」のページが用意されている。

種 目【道徳】

発行者【38 光村図書出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・ いじめ問題について、「よびかけ→教材→コラム」のユニットを組み、重点的に学ぶ構成になっている。発達段階を考慮し、1・2年生は1学期に、3～6年生は2学期に配置している。 ・ 教材数は、読み物 177 教材、問題解決 18 教材、体験 38 教材。 ・ 2年生以上の多くの教材末に「つなげよう」を設け、他教科等と関連付けている。 ・ 1年生 [A 自分自身] 10 教材、[B 人との関わり] 9 教材、[C 集団や社会] 11 教材、[D 生命や自然、崇高なもの] 5 教材、全 34 教材。6年生 [A 自分自身] 8 教材、[B 人との関わり] 9 教材、[C 集団や社会] 11 教材、[D 生命や自然、崇高なもの] 7 教材、全 35 教材。 ・ 重点内容項目として [D 生命の尊さ] (全学年に 3 教材) [B 親切・思いやり] (全学年に 2 教材) を配置し、繰り返し学習できる構成になっている。 ・ 教材末には「つなげよう」が設けてあり、他教科で学習する内容と関連付けている。 ・ 教材とコラムとを組み合わせた「ユニット」が年間 5 か所に位置付けられている (いじめ・情報・環境・国際理解・福祉共生)。 ・ 「つなげよう」で、自分につなげて考える発問が設定されているものや、役割演技をするように示唆しているものがある。 ・ 導入 (1) 展開 (3) 終末 (1) の場面で発問を位置付けている。主発問に◎がついており、問題解決的な学習ができるように十分配慮されている。 ・ 展開の発問は、主人公に着目した内容で、考えがもちやすい。 ・ 終末は自分に返す発問で、自然に自分のこととして考えられるような発問になっている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・ 伝統、郷土に関する教材は、5年生 2 教材、その他の学年 1 教材。 ・ 岐阜県関連の教材として、6年生「五十五年目の恩返し」(杉原千畝) を配置している。 ・ 3年生以上に巻末のコラムで地域の写真や資料を掲載している。 ・ 教材のページに二次元コードがある (1～6年生 計 102)。2次元コードは、朗読、web 資料画像、動画など、必要な物に絞られている。 ・ 毎回の授業の振り返りを「学びの記録」に記述できるようになっている。「学習のまとめ」ごとにまとめて記述欄が設けられており、順番に記述できないのは煩雑だが、1年後には内容ごとに振り返ることができるよさがある。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・ 巻頭に道徳の時間の学び方や大切にしたいことがまとめられている。 ・ 終末では、既習資料や他教科、読書活動、実践等とつながる自然な投げかけがあり、指導経験が浅い教員にとっても広がりのある指導がしやすいよう、十分配慮されている。 ・ 「学びの記録」を学習のまとめごとで記述するので、評価に生かすことができる。 ・ 3年生以上の長期休み前に、「環境」「国際理解」を扱ったコラムを位置付け、その中に「夏休み(冬休み)に調べてみよう」という趣旨のコーナーが設けられている。児童が、自主的な学びに生かしたり、家庭での話し合いにつなげたりすることができる。 ・ 教材ごとに、何について考え話し合うか(めあて)を例示してある。
4 表現や体裁等に関すること	・ 大きさ：192mm×257mm (B5 判変形) ・ 重量とページの平均：185 ページ、332g ・ 学年段階に応じた文字の大きさや行間である。UD 書体を使用している。 ・ 文章の記述は、1年生は文節分ち書き、2年生は2～3文節分ち書きされている。 ・ ノートはなし。学びの記録が3か所にまとめてある。巻末には、「1年の振り返り」がある。 ・ 巻末は、全学年道徳の学びで大切にしたいことや日本の伝統などが掲載されている。

種 目【道徳】

発行者【116 日本文教出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・ いじめ問題について、「人との関わり」というユニットを組み、複数（7～8）教材で多面的・多角的に考えられるよう、各学年で年3回を配置している。低学年は身近な友達との関係を軸に、中学年は学級内での人間関係を軸に、高学年は集団内での役割を軸にしている。 ・ 教材数は、読み物 196 教材、問題解決 15 教材、体験 26 教材。 ・ 教材末に「学習の手引き」を設け（各学年6教材）、問題解決的な学習や体験的活動ができるようにしている。3年生「お母さんのせいきゅう書」（P98）、4年生「新次のしょうぎ」（P120）など。 ・ 巻末「学習内容一覧」に、他教科等との関連を明示している。 ・ 1年生「A 自分自身」11 教材、「B 人との関わり」8教材、「C 集団や社会」13 教材、「D 生命や自然、崇高なもの」5教材、全37教材。6年生「A 自分自身」9教材、「B 人との関わり」8教材、「C 集団や社会」13 教材、「D 生命や自然、崇高なもの」8教材、全38教材。 ・ 重点内容項目は「A 善悪の判断」「B 親切、思いやり」（1～4年生に3教材、5・6年生に2教材）「C 規則の尊重」「D 生命の尊さ」（1～4年生に3教材、5・6年生に2教材）を配置している。 ・ 導入(1)展開(1)終末(1)の場面で発問を位置付けている。 ・ 展開は、主人公の気持ちを問う発問、終末は自分を見つめ直す発問になっている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・ 伝統、郷土に関する教材は、全学年2教材を配置している。 ・ 岐阜県関連の教材として、3年生「あこがれの人」郡上踊り、6年生「上村さんのちょうせん」岐阜市出身者、「杉原千畝」を配置している。 ・ コラムで祭りや昔の遊び等を扱っている。 ・ インターネットに参考資料がある教材には、マークが付けてある（各学年5教材、計25）。画像、動画、関連のHPにリンクする。必要な物に絞られている。 ・ 別冊の「道徳ノート」に、自分の感じたことを書き込む記述欄が位置付いており、評価に生かすことができる。 ・ 自分の考えを深めることができるように、自由に書き込める欄が設けてある。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・ 巻頭に、各学年の発達段階に応じた「道徳の学び方」が記載されている。 ・ 1年生では、目次やオリエンテーションページをイラストや写真でかるた風に提示されている。 ・ 題字の横にあらすじと主な登場人物が記されている。 ・ 教材の始めに導入のための発問例が1つ、教材のねらいに迫るためのヒントとなる発問例が1つ、学習を通して見つけ、生かしていくための発問例が1つ、記されている。 ・ 「道徳ノート」の巻末に、学期ごとに保護者の一言を書いてもらう欄が設けてある。児童が道徳の学習状況や道徳性の成長を継続して把握したり、家庭での話し合いのきっかけにつながったりするように工夫されている。
4 表現や体裁等に関すること	・ 大きさ：210mm×257mm（AB判） ・ 重量とページの平均：213 ページ、464g ・ 学年段階に応じた文字の大きさや行間である。フォントは教科書体を使用している。 ・ 文章の記述は、低学年は、分ち書きされている。5行ごとに行番号が付いている。 ・ 道徳ノートが別冊である（教科書に挟めるサイズ）。

種 目【道徳】

発行者【208 光文書院】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・ いじめ問題について、年間を通して多面的に学べるよう、「いじめを生まない心」として関連する教材を計画的に配置している。 ・ 教材数は、読み物 199 教材、問題解決 14 教材、体験 42 教材。 ・ 各学年のコラムに人間関係を豊かにする体験的活動を配置している。1 年生「おおきく そだてよう 『ありがとうの き』」(P32)、6 年生「ナイスリターン」(P22) など。 ・ 地域や各学校の実態に応じて入れ替えができる教材を掲載し、多様な指導に合わせられる構成にしている。 ・ 1 年生「A 自分自身」12 教材、「B 人との関わり」9 教材、「C 集団や社会」12 教材、「D 生命や自然、崇高なもの」7 教材、全 40 教材。6 年生「A 自分自身」10 教材、「B 人との関わり」8 教材、「C 集団や社会」13 教材、「D 生命や自然、崇高なもの」9 教材、全 40 教材。 ・ 重点内容項目として、[B 親切・思いやり] (1 年生 2 教材、2～6 年生 3 教材)「D 生命の尊さ」(1 年生 6 教材、2～6 年生 3 教材)を配置している。 ・ 「問いをもつ」、「考える」、「まとめる」、「広げる」の 4 段階で、授業の流れを示している。 ・ 導入(1)展開(2～3)終末(1)の場面で発問を位置付けている。 ・ 登場人物の気持ちを問う発問、行動の理由を問う発問、主題の意味を問う発問など、多くの種類の発問を用意している。
2 岐阜県教育振興基本計画(第 3 次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	・ 伝統、郷土に関する教材は、1・2・4 年生 2 教材、3・5 年生 3 教材、6 年生 4 教材。 ・ 岐阜県関連の教材として、1 年生「たいせつないのちをまもるために」海津市、5 年生「世界の文化遺産」白川郷、6 年生「これが日本」白川郷、「六千人の命を救った決断」杉原千畝、「わたしはひろがる」岸武雄(岐阜市出身)を配置している。 ・ 全学年においてコラム等で多数の地域や日本の伝統文化に関する写真や資料を掲載している。 ・ 教科書に二次元コードはない。ただしデジタル教材(指導書購入で利用可能)に、挿絵、写真、動画、朗読、登場人物インタビューなどがある。必要な物に絞られている。 ・ 児童が学習後の振り返りができるよう、巻末に自己評価シート「学びの足あと」があり、評価に生かすことができる。 ・ 学期末や年度末の長期的な振り返りができる「まとめ」の欄が設けてある。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	・ 巻頭に、4 つの視点と学習の流れのページをそれぞれ見開きで設けてある。 ・ 教材の始めに主題と考える視点を、教材の終わりに道徳的価値の理解を深めるための振り返りのポイントを示している。 ・ 教材の始めに主な登場人物を紹介している。 ・ 各教材末尾の「広げる」で具体的な活動や調べ学習などを提案し、家庭や地域生活につなげる工夫がされている。 ・ 家庭での出来事や地域との交流を描いたものなど、家庭や地域へ広がりやすい題材を取り入れている。
4 表現や体裁等に関する事	・ 大きさ：210mm×285mm (A4 判変形) ・重量とページの平均：173 ページ、412g ・ 学年段階に応じた文字の大きさや行間である。 ・ 文章の記述は、低学年は、分ち書きされている。5 行ごとに行番号が付いている。 ・ ノートなし(別途購入のノートあり)巻末に、一言コメントで振り返る「学習の足あと」と、学期末(3 学期制)にまとめてふりかえるスペースを位置付けたページが設けてある。 ・ 分かりにくい言葉には、脚注が用意されている。

種 目【道徳】

発行者【224 学研教育みらい】

調査項目	意 見
1 学習指導要領改訂の趣旨及び内容に関すること	・ いじめ問題について、様々な内容項目から多面的・多角的に考えられるように教材を配置している。5年生「いじめをなくすために」(P36 公正、公平)「電池が切れるまで」(P42 生命の尊さ)「言葉のおくりもの」(P50 友情、信頼) など。 ・ 教材数は、読み物 206 教材、問題解決 20 教材、体験 27 教材。 ・ 教材末に「深めよう」として問題解決的な学習を設けている。4年生「クラスたいこう全員リレー」(P94) ・ 教材末に「やってみよう」として体験的な活動を設けている。2年生「およげないりすさん」(P14) ・ 教材末に「つなげよう」「広げよう」を設置し、視野を広げられるようにしている。関連する教科名等の明示は教科書になし。 ・ 他教科との関連等は、各学年に各教科等での道徳性の育成につながる教材を用意している。 ・ 1年生「A 自分自身」11 教材、「B 人との関わり」8 教材、「C 集団や社会」9 教材、「D 生命や自然」6 教材、全 34 教材。6年生「A 自分自身」9 教材、「B 人との関わり」9 教材、「C 集団や社会」9 教材、「D 生命や自然」8 教材、全 35 教材。 ・ 重点内容項目として、「A 善悪の判断」「B 親切、思いやり」「D 生命の尊さ」を全学年に 3 教材ずつ配置している。 ・ 生き方について、ユニット学習で行い視野を広げられるようになっている。低学年のテーマ：「しっかり生きる」中学年のテーマ：「仲良く生きる」高学年のテーマ：「ともに生きる」 ・ 4 種類の学び方の特設ページが、3 5 資料中 1 4 資料にあり、対話的な学びの活動例を示している。 ・ 導入(0)展開(1)終末(1)の場面で発問を位置付けている。 ・ 一人一人の価値観が異なることを前提に、異なる価値観を出し合うことをねらう発問がある。
2 岐阜県教育振興基本計画（第3次岐阜県教育ビジョン）の基本方針に関すること	・ 伝統、郷土に関する教材は、1～2年生1教材、3～6年生2教材。 ・ 岐阜県関連の教材として、3年生「すきなことから」(高橋尚子)、5年生「わたしはひろがる」(岸武雄 岐阜市出身)、6年生「どんな心が見えてきますか」(岐阜市ポスター)を配置している。 ・ 各学年のコラム等で、多数の地域や日本の伝統文化に関する写真や資料を掲載している。5年「知っていますか、日本の世界遺産」白川郷)。 ・ 目次に二次元コードがあり、教科書の内容に関連する音声、動画、画像等が利用できる(1年生～6年生 計 38 教材)。外部リンクにつながるものもある(5年生2教材 6年生2教材)。 ・ 各学年の巻末に「心の宝物(学びの足跡)」のページを配置。4つの視点について、一年間の学習で成長した自分をふりかえったり、次学年に向けての目標等を記述させたりする内容になっている。 ・ 振り返りが年間を通して一つ位置付けている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・ 巻頭に、「自分を見つめ深めるポイント」を示している。 ・ 巻頭に、道徳の学び方、4つの視点(自分・人・社会・自然)の記載がある。教材冒頭に、敢えて主題名を記載せず、自己を見つめ考えを深めるきっかけとなる問いかけを例示してある。 ・ 家庭生活や地域社会にかかわりのある教材を取り入れている。 ・ 家庭との連携を図り、保護者の方の一言を書いてもらう欄が設けてある。
4 表現や体裁等に関すること	・ 大きさ：210mm×257mm (AB 版) ・ 重量とページの平均：153 ページ、364g ・ 学年段階に応じた文字の大きさや行間である。UD 書体を使用している。 ・ 文章の記述は、1年生は、分ち書きである。5行ごとに行番号が付いている。 ・ ノートなし。1年の始めに、自分を見つめるページ、1年の終わりに自分の成長を振り返るページが設けてある。

種 目【道徳】

発行者【232 廣濟堂あかつき】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	・いじめ問題について、低中学年では間接的教材を、高学年では直接的な教材を配置している。 ・教材数は、読み物 196 教材、問題解決 29 教材、体験 35 教材。 ・役割演技や動作化などの体験的な学習ができる教材を 3～5 教材配置している。3 年生「森の げいじゅつてん」(P60)、4 年生「明の長所」(P119) など。 ・他教科等との関連について、具体的な明示してはいないが、教材末に「学習を広げる」として「本のしょうかい」「知っておこう」などをさらなる学習の切り口として挙げている。 ・1 年生「A 自分自身」11 教材、「B 人との関わり」8 教材、「C 集団や社会」10 教材、「D 生命や自然」5 教材、全 34 教材。6 年生「A 自分自身」11 教材、「B 人との関わり」8 教材、「C 集団や社会」10 教材、「D 生命や自然」5 教材、全 35 教材。 ・重点内容項目として、「A 善悪の判断」「B 親切、思いやり」「D 生命の尊さ」を各学年に 3 教材ずつ配置している。 ・低学年は「節制、節度」及び「規則の尊重」を 3 教材、中学年は「規則の尊重」を 3 教材、高学年は「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」を 2 教材配置している。 ・「学習の道すじ」に、めあてと発問が記載されている。 ・導入(0)展開(2～3)終末(1)の場面で、発問を位置付けている。 ・展開の発問は、主人公に着目したものに限られている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第 3 次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	・伝統、郷土に関する教材は、1 年生 1 教材、2～6 年生 2 教材。 ・岐阜県関連の教材は、3 年生「きつとできる」(高橋尚子)、3 年生別冊に白川郷、4 年生「日本の伝とう文化」(本美濃紙)がある。 ・教科書に二次元コードはない。HP から関連先へリンクしている(3 年生 9 教材、4 年 8 教材、5 年生 8 教材、6 年生 15 教材、全 36 教材)。 ・指導者用デジタル教材(指導書購入で利用可能)で、朗読・画像・動画・アニメーションの活用ができる。 ・別冊の道徳ノートに、「授業記録」「話し合い活動の記録」「体験活動の記録」「心のしおり」を位置付けている。 ・各学年の初めと終わりに、今の自分を見つめるコーナーを位置付けている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	・巻頭の「道徳の時間はこんな時間」に、道徳の授業で大切にしたいことが、各学年に応じた表現で紹介されている。 ・巻頭には、全学年で詩が掲載されている。教材の始めに、導入時に活用できる文言が記載されている。教材末に、授業で活用できる問いと自我関与できる問い(全学年)、目当て(3 年生以上)が例示してある。 ・家庭との連携を図ることができるよう、保護者にも読んでもらい、巻末の「こころのしおり」にサインをする欄が設けてある。
4 表現や体裁等に関すること	・大きさ：210mm×257mm (AB 版) ・重量とページの平均：177 ページ、403g ・学年段階に応じた文字の大きさや行間である。 ・文章の記述は、低学年は分かち書きされている。 ・ノートが別冊である。(教科書に挟めるサイズ) ノートは、価値について考え自分を振り返るページと、自分の学びを記録するページの 2 種類に分けて作られている。